

# 桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事

図面リスト					
No.	図面名称	No.	図面名称	No.	図面名称
A-00	表紙・図面リスト	E-01	特記仕様書	M-01	特記仕様書
A-01	改修工事特記仕様書1	E-02	1階平面図(空調電源設備)	M-02	空調機器表
A-02	改修工事特記仕様書2	E-03	2階平面図(空調電源設備)	M-03	1階平面図(空調設備)
A-03	配置図	E-04	R.F階平面図(空調電源設備)	M-04	2階・屋上平面図(空調設備)
A-04	B1階平面図、1階平面図			M-05	1階平面詳細図(空調設備)
A-05	2階平面図、屋上平面図			M-06	2階平面詳細図(空調設備)
A-06	断面図、仮設搬入出架台参考図			M-07	屋上平面詳細図(空調設備)
				M-08	既設1階平面詳細図(空調設備)
				M-09	既設2階平面詳細図(空調設備)
				M-10	既設屋上平面詳細図(空調設備)



特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希中央5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認  図面提出日 2024/07/31	管理建築士 1級 256630号 堂室 敦司	印 
	図名	表紙・図面リスト	縮尺	-					

改修工事特記仕様書

1. 工事名称 桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事
II. 工事概要
1 工事場所 名古屋市桔梗が丘6番町1街区131番地の4
2 敷地面積 448.6、0.7㎡
3 工事内容 棟名称 市民センター棟
構造 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上2階
建築面積 124.4、6.8㎡
延べ面積 162.6、1.2㎡
工事項目 改修工事

- III. 建築改修工事仕様
1 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「改修標準仕様書」という。）」による。
2 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
(3) 項目欄に記載の（ ）内表示番号は改修標準仕様書の該当項目等を示す。

Table with 3 columns: 章 (Chapter), 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes). Contains sections for general items, construction conditions, site investigation, material handling, and specific technical requirements for various materials and equipment.

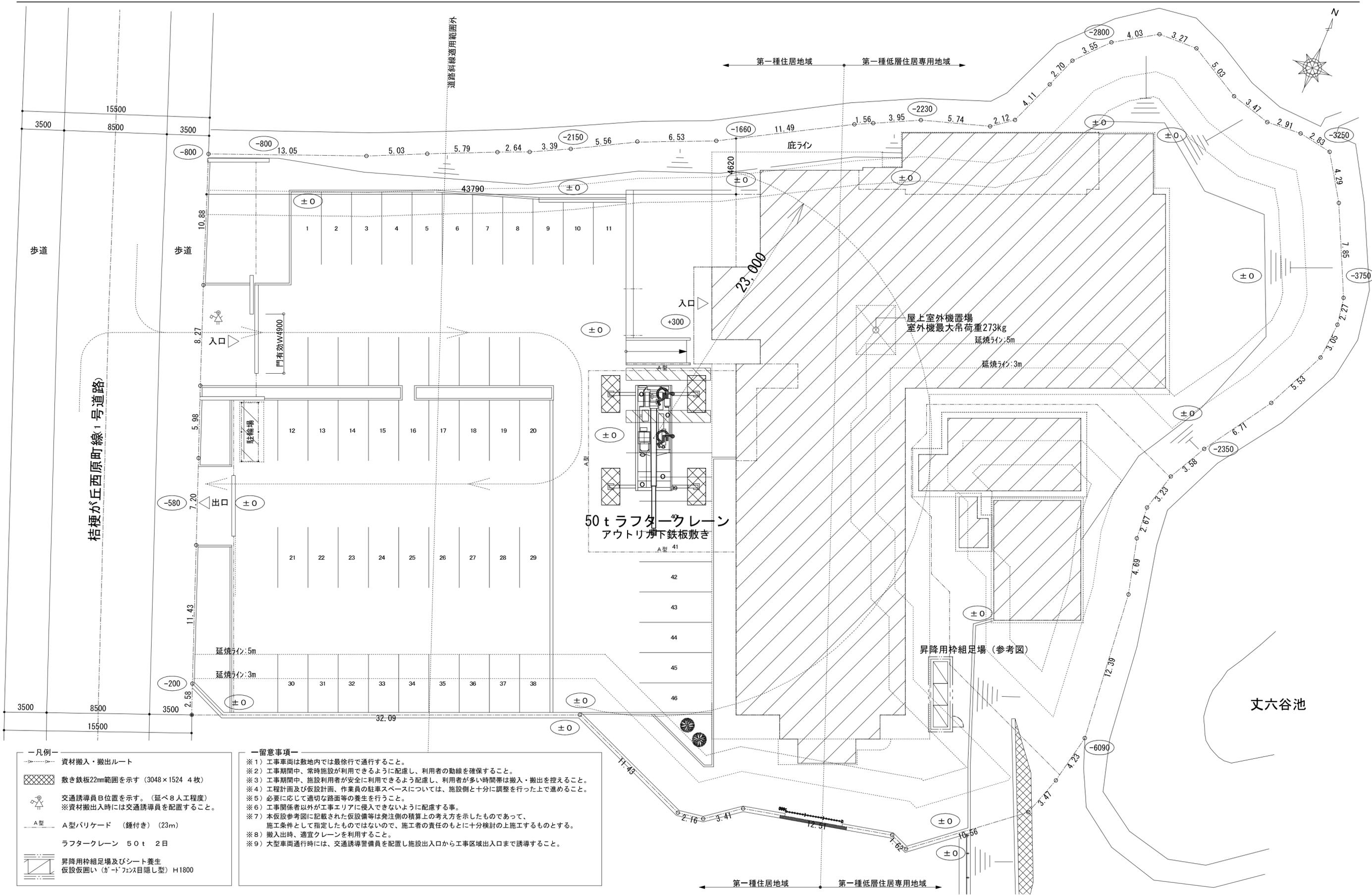
Table with 3 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 備考 (Remarks). Contains detailed technical specifications for construction methods, safety measures, and equipment requirements.

Table with 3 columns: 項目 (Item), 特記事項 (Special Notes), 備考 (Remarks). Contains specifications for electrical and communication systems, and detailed material requirements for wood and metal.

Project summary and administrative information including: 特記 (Remarks), 工事名 (Project Name: 桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事), 図名 (Drawing Name: 改修工事特記仕様書 1), 縮尺 (Scale: -), 図面番号 (Drawing No: A-01), 1級建築士事務所 (Architect: HAKUHO Architech), and 管理建築士 (Supervisor: 田中 西尾 安井).

特記	5 軽量鉄骨天井 下地 (6.6.2) (表6.6.1) (6.6.3)	<p>野縁等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋内 ・ 19形 ・ ( )</li> <li>・ 屋外 ・ 25形 ・ ( )</li> </ul> <p>形式及び寸法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 屋外 ・ 図示 (図面番号: )</li> <li>・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号: )</li> <li>・ ふとごころ1.5m ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号: )</li> </ul>																																											
	(6.6.4)	<p>既存埋込みインサート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う)</li> </ul> <p>既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 行う ( 図示 (図面番号: ) )</li> <li>・ 行わない ( 図示 (図面番号: ) )</li> <li>・ 確認試験の箇所数 ( 箇所 ) ・ 確認強度 ( )</li> </ul> <p>耐震性・耐風圧性を考慮した補強</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示 (図面番号: )</li> </ul>																																											
	6 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)	<p>スタッド、ランナーなどの種類は、(表6.7.1)による。</p>																																											
	7 ビニル床シート ビニル床タイル 及びゴム床タイル張り (6.8.2) (6.8.2)(1) (6.8.2)(3)(4)	<p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FS</td> <td>マーブル (既存同色)</td> <td>2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・ 防滑性床シート又は床タイル</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>厚さ</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>工法</p> <p>下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ( コクリト )</p>	種類の記号	色柄	厚さ	備考	FS	マーブル (既存同色)	2.5										種類	寸法	厚さ	備考																							
	種類の記号	色柄	厚さ	備考																																									
	FS	マーブル (既存同色)	2.5																																										
	種類	寸法	厚さ	備考																																									
(6.8.3)(1)	<p>ビニル床シート張り</p> <p>熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない</p>																																												
(6.8.3)(2)(9)	<p>ビニル床シート張り</p> <p>熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない</p>																																												
8 カーベツト敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)	<p>・ 織じゅうたん</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>糸の種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>帯電性</th> <th>品質の程度</th> <th>色柄</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 羊毛</td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ ( )</td> <td>・ 無地</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 絹糸</td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ 柄物</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ ( )</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)</p> <p>・ タフテッドカーベツト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td>・ ( )</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄	・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ( )	・ 無地	・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル	・ ( )	・ ( )	・ 柄物	・ C種	・ ( )	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )	・ ( )	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )	・ ループパイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )	・ カット、ループ併用		・ ( )		
種類	糸の種類	パイルの形状	帯電性	品質の程度	色柄																																								
・ A種	・ 羊毛	・ カットパイル	・ 人体帯電圧 3KV以下	・ ( )	・ 無地																																								
・ B種	・ 絹糸	・ ループパイル	・ ( )	・ ( )	・ 柄物																																								
・ C種	・ ( )	・ カット、ループ併用	・ ( )	・ ( )	・ ( )																																								
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																									
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )																																									
・ ループパイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )																																									
・ カット、ループ併用		・ ( )																																											
(6.9.2)(2) (表6.9.2)	<p>・ タフテッドカーベツト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>パイルの形状</th> <th>パイル長(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>工法</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ カットパイル</td> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td>・ 全面接着工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ ループパイル</td> <td></td> <td>・ ( )</td> <td>・ グリッパー工法</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度	・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )	・ ループパイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )	・ カット、ループ併用		・ ( )																										
パイルの形状	パイル長(mm)	帯電性	工法	品質の程度																																									
・ カットパイル		・ 人体帯電圧 3KV以下	・ 全面接着工法	・ ( )																																									
・ ループパイル		・ ( )	・ グリッパー工法	・ ( )																																									
・ カット、ループ併用		・ ( )																																											
(6.9.2)(3)	<p>・ ニードルパンチカーベツト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ(mm)</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 人体帯電圧 3KV以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	厚さ(mm)	帯電性	備考		・ 人体帯電圧 3KV以下			・ ( )																																				
厚さ(mm)	帯電性	備考																																											
	・ 人体帯電圧 3KV以下																																												
	・ ( )																																												
(6.9.2)(4) (表6.9.2)	<p>・ タイルカーベツト</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>パイルの形状</th> <th>寸法(mm)</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>品質の程度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ カットパイル</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 6.5</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ ループパイル</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度		・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )		・ ループパイル	・ ( )	・ ( )	・ ( )																													
種類	パイルの形状	寸法(mm)	総厚さ(mm)	品質の程度																																									
	・ カットパイル	・ 500×500	・ 6.5	・ ( )																																									
	・ ループパイル	・ ( )	・ ( )	・ ( )																																									
(6.9.2)(5) (6.9.2)(6)	<p>下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ( )</p> <p>見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号: ) )</p>																																												
(6.9.3)(3) (6.9.3)(5)	<p>織じゅうたんの接合法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒートボンド工法 ・ ( )</li> </ul> <p>タイルカーベツトの敷き方</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平場</th> <th>市松敷き</th> <th>模様流し</th> <th>( )</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・ 市松敷き</td> <td>・ 模様流し</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 市松敷き</td> <td>・ 模様流し</td> <td>・ ( )</td> </tr> </tbody> </table>	平場	市松敷き	模様流し	( )		・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )		・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )																																
平場	市松敷き	模様流し	( )																																										
	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )																																										
	・ 市松敷き	・ 模様流し	・ ( )																																										
9 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)	<p>弾性ウレタン樹脂塗床の仕上げ種類、工程</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</li> </ul>																																												
(6.10.3)(2)(b) (6.10.3)(3) (表6.10.5)~ (表6.10.8)	<p>エポキシ樹脂塗床の仕上げ種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 薄膜流しのべ仕上げ ( ・ 平滑 ・ 防滑 )</li> <li>・ 厚膜流しのべ仕上げ ( ・ 平滑 ・ 防滑 )</li> <li>・ 樹脂モルタル仕上げ ( ・ 平滑 ・ 防滑 )</li> <li>・ 薄膜塗床仕上げ ( ・ 平滑 )</li> </ul>																																												
10 フローリング 張り (6.11.4) (表6.11.2)	<p>・ 釘留の工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料</th> <th>種類</th> <th>樹種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (根太張用)</td> <td></td> <td>・ なら</td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (根太張用)</td> <td>・ A種</td> <td>・ ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>防湿処理 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>・ 接着工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>樹種</th> <th>厚さ</th> <th>大きさ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ フローリングボード (直張用)</td> <td>・ なら</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック (直張用)</td> <td>・ ( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合フローリング (直張用)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ B種</td> <td>・ C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>縦断材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号: )</p>	材料	種類	樹種	・ フローリングボード (根太張用)		・ なら	・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種	・ ( )		・ B種			・ C種		材種	樹種	厚さ	大きさ	・ フローリングボード (直張用)	・ なら			・ フローリングブロック (直張用)	・ ( )			・ 複合フローリング (直張用)				・ A種	・ B種	・ C種										
材料	種類	樹種																																											
・ フローリングボード (根太張用)		・ なら																																											
・ 複合フローリング (根太張用)	・ A種	・ ( )																																											
	・ B種																																												
	・ C種																																												
材種	樹種	厚さ	大きさ																																										
・ フローリングボード (直張用)	・ なら																																												
・ フローリングブロック (直張用)	・ ( )																																												
・ 複合フローリング (直張用)																																													
・ A種	・ B種	・ C種																																											
(6.11.5) (表6.11.5) (表6.11.6)	<p>塗装</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)</li> <li>・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り</li> <li>・ 生地のままワックス塗り</li> <li>・ ( )</li> </ul>																																												
11 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)	<p>種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</p> <p>・ D種の畳床 K T - ( ・ I ・ II ・ III ・ K ・ N )</p>																																												
12 セッコウボード、 その他ボード 及び合板張り (6.13.2) (表6.13.1)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ セッコウボード</td> <td>壁</td> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 15(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 21(不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>天井</td> <td>・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧セッコウボード</td> <td>・ トラバーチン模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 木目模様</td> <td>・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>・ 普通</td> <td>・ 9( ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 立体模様</td> <td>・ 9( ) ・ ( )</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板</td> <td>・ タイプII 0.8FK</td> <td>・ 6</td> </tr> <tr> <td>・ シーキングセッコウボード</td> <td></td> <td>・ 12.5(不燃)</td> </tr> </tbody> </table>	材種	種類	厚さ(mm)	・ セッコウボード	壁	・ 12.5(不燃)			・ 15(不燃)			・ 21(不燃)		天井	・ 9.5(準不燃)			・ 12.5(不燃)	・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)		・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)	・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9( ) ・ ( )		・ 立体模様	・ 9( ) ・ ( )	・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ 6	・ シーキングセッコウボード		・ 12.5(不燃)								
材種	種類	厚さ(mm)																																											
・ セッコウボード	壁	・ 12.5(不燃)																																											
		・ 15(不燃)																																											
		・ 21(不燃)																																											
	天井	・ 9.5(準不燃)																																											
		・ 12.5(不燃)																																											
・ 化粧セッコウボード	・ トラバーチン模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																											
	・ 木目模様	・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)																																											
・ ロックウール化粧吸音板	・ 普通	・ 9( ) ・ ( )																																											
	・ 立体模様	・ 9( ) ・ ( )																																											
・ けい酸カルシウム板	・ タイプII 0.8FK	・ 6																																											
・ シーキングセッコウボード		・ 12.5(不燃)																																											

(6.13.2)(8)	<p>遮音シール材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド</li> </ul>																																																
(6.13.3)(5)(9)	<p>合板張りの張付け</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ A種 ・ B種</li> </ul>																																																
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5)	<p>セッコウボードの目地工法</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継目処理 ・ 突付け ・ 目隠し</li> </ul>																																																
13 壁紙張り (6.14.2)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図示</td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	種類	防火性能	図示		・ 不燃 ・ 準不燃																																										
施工箇所	種類	防火性能																																															
図示		・ 不燃 ・ 準不燃																																															
14 モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)	<p>モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料</p> <p>既製目地材 ・ 使用する (形状: )</p> <p>床の目地 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mm超 図示 (図面番号: )</p>																																																
15 タイル張り (6.16.2) (6.16.3)	<p>伸縮調整目地</p> <p>位置 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>タイルの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状</th> <th>寸法</th> <th>耐滑り性</th> <th>標準・特注色の別</th> <th>耐凍害性の有無</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無																																										
施工箇所	形状	寸法	耐滑り性	標準・特注色の別	耐凍害性の有無																																												
(6.16.3)(2)	<p>試験張り ・ 行う ・ 行わない</p> <p>見本焼き ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない</p>																																																
16 セルフレベ リング材塗り (6.17.2) (6.17.3)	<p>・ セッコウ系 ・ セメント系</p> <p>塗厚 ( ) mm</p>																																																
17 断熱材 (9.5.2)	<p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ A種硬質ウレタンフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材現場発泡工法 (軟質硬質ウレタンフォーム)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ[mm]</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種 1</td> <td></td> <td>・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</td> </tr> <tr> <td>・ A種 1 H</td> <td>・ ( )</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	種類	厚さ(mm)	施工箇所	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム				・ 押出法ポリスチレンフォーム				・ A種硬質ウレタンフォーム				・ フェノールフォーム				種類	厚さ[mm]	施工箇所	・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所	・ A種 1 H	・ ( )																				
種類	種類	厚さ(mm)	施工箇所																																														
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム																																																	
・ 押出法ポリスチレンフォーム																																																	
・ A種硬質ウレタンフォーム																																																	
・ フェノールフォーム																																																	
種類	厚さ[mm]	施工箇所																																															
・ A種 1		・ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所																																															
・ A種 1 H	・ ( )																																																
4 防水改修工事	<p>1 アスファルト 防水 (3.3.3) (表3.3.3)~ (表3.3.10)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PIB</td> <td>・ B-1 ・ B-2 ・ B-3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PIE</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PZE</td> <td>・ E-1 ・ E-2</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>改質アスファルトルーフィングシート</p> <p>種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート</p> <p>種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ・ ( )</p> <p>断熱工法の断熱材 (PIB1, P2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1)</p> <p>材質 ・ ( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 3種 a (スキンあり)</li> <li>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 1号</li> <li>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材 2種 2号</li> </ul> <p>厚さ ・ ( )</p> <p>ルーフトレン回り及び立上り部断熱材の張りじまい位置 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>断気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1)</p> <p>・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ) )、材質 ( )</p> <p>・ 設けない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕上塗料 種類 ( ) 使用量 ( )</li> </ul> <p>保護コンクリートの厚さ 全て仕上げ ・ 水下50mm以上 ・ ( )</p> <p>床タイル張り ・ 水下60mm以上 ・ ( )</p> <p>全て仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種</p> <p>保護層 ・ 設ける ・ 設けない</p> <p>塵上排水溝の適用 ・ 適用する</p> <p>立上り保護 ・ 乾式保護材 ( ) ・ コンクリート押入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ れんが (材質 ・ JIS R1250) ・ モルタル押入</li> </ul>	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3		・ PIE			・ PZE	・ E-1 ・ E-2																																					
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ PIB	・ B-1 ・ B-2 ・ B-3																																																
・ PIE																																																	
・ PZE	・ E-1 ・ E-2																																																
(3.3.2)	<p>2 改質アスファ ルトシート防水 (3.4.2)</p> <p>改質アスファルトシート</p> <p>種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート</p> <p>種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ・ ( )</p> <p>断熱工法の断熱材 (M4S1, M4S1, P4S1)</p> <p>材質、厚さ ( )</p> <p>図示 ・ ( )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ M4S</td> <td>・ AS-T1 ・ AS-T2</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ AS-J2</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断気装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ) )、材質 ( )</li> <li>・ 設けない</li> </ul>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2				・ AS-J2																																						
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料																																														
・ M4S	・ AS-T1 ・ AS-T2																																																
	・ AS-J2																																																
(3.4.3) (表3.4.1)~ (表3.4.3)	<p>3 合成高分子系 ルーフィング シート防水 (3.5.2)</p> <p>ルーフィングシート</p> <p>種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ ( )</p> <p>厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ・ ( )</p> <p>地絡用シート ・ 発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状 ・ 図示 ( )</p> <p>断熱工法の断熱材 (P4S1, S4S1, S3S1, M4S1)</p> <p>材質、厚さ ( )</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図示 ( )</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>種 別</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ S3S</td> <td>・ S-F1 (S-F1)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ S3S1</td> <td>・ S-F2 (S-F2)</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>断気装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ) )、材質 ( )</li> <li>・ 設けない</li> </ul> <p>既存防水層下地がPCコンクリート材の場合</p> <p>目地処理 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>増張り ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>保護層の施工 ・ 図示 (図面番号: )</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ POX</td> <td>・ X-1</td> <td>・ X-2</td> <td>製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)</td> </tr> </tbody> </table> <p>断気装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ) )、材質 ( )</li> <li>・ 設けない</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P11</td> <td>・ Y-2</td> <td>1-2階使済</td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>(M4S, M4S1, M4C, M4D1) ・ 行う ・ 行わない</p> <p>(L4X) ・ 行う ・ 行わない</p>	工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料	・ S3S	・ S-F1 (S-F1)			・ S3S1	・ S-F2 (S-F2)			工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ POX	・ X-1	・ X-2	製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ P11	・ Y-2	1-2階使済	・ P2Y																					
工 法	種 別	種 別	仕 上 塗 料																																														
・ S3S	・ S-F1 (S-F1)																																																
・ S3S1	・ S-F2 (S-F2)																																																
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料																																														
・ POX	・ X-1	・ X-2	製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)																																														
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ P11	・ Y-2	1-2階使済																																															
・ P2Y																																																	
(3.6.3) (表3.6.1) (3.6.3)(1)	<p>4 塗膜防水 (3.6.3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 上 塗 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ POX</td> <td>・ X-1</td> <td>・ X-2</td> <td>製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)</td> </tr> </tbody> </table> <p>断気装置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号: ) )、材質 ( )</li> <li>・ 設けない</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ P11</td> <td>・ Y-2</td> <td>1-2階使済</td> </tr> <tr> <td>・ P2Y</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>保護層 ・ 図示 (図面番号: )</p>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	・ POX	・ X-1	・ X-2	製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ P11	・ Y-2	1-2階使済	・ P2Y																																	
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料																																														
・ POX	・ X-1	・ X-2	製造所の仕様による (塵上:トリアノール系)																																														
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ P11	・ Y-2	1-2階使済																																															
・ P2Y																																																	
(3.6.3)(2)	<p>5 既存防水層表面 の仕上塗膜の除 去 (3.2.6)(3)(4) (3.2.6)(3)(4)</p> <p>6 シーリング (3.7.2) (表3.7.1)</p> <p>材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>施工箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ SR-1</td> <td>シリコーン系</td> <td>ガラス、水廻り</td> </tr> <tr> <td>・ MS-2</td> <td>変成シリコーン系</td> <td>サッシ廻り</td> </tr> <tr> <td>・ PS-2</td> <td>ポリサルファイド系</td> <td>打鍵ぎ目地、誘免目地</td> </tr> <tr> <td>・ PU-2</td> <td>ポリウレタン系</td> <td>外壁 ・ 既設壁取り合い目地</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ワーキングジョイントは2面接着、ノンワーキングジョイントは3面接着を原則とする。</p> <p>※外壁以外の目地で、溶着、流し、液面化配合等 水まわりや、耐湿性が重要な部位は、防カビタイプ I成分シリコーン系 (既オキヤムド) シーリングとする。</p> <p>7 とい (表3.8.1) (表3.8.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工 法</th> <th>種 別</th> <th>施 工 箇 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ シーリング充填工法</td> <td>・ シーリング再充填工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 低層シーリング再充填工法</td> <td>・ ブリッジ工法</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>シーリング材の試験</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 断層接着性試験 ・ 引張接着性試験 ・ 行わない</li> </ul> <p>8 アルミニウム製 窓木 (3.9.2)(3) (表3.9.1) (3.9.2)(2) (3.9.2)(4) (3.9.3)</p> <p>部材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 押出し250形 ・ 押出し300形 ・ 押出し350形</li> <li>・ 板材折曲げ形 (本体幅 ( ) mm、板厚 ・ 2.0mm ・ ( ) )</li> </ul> <p>固定金具の間隔 ( mm) 固定方法 ・ ( )</p> <p>表面処理 ・ ( )</p> <p>工 法 既存窓木の撤去 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>下地補修の工法 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>板材折曲げ形の窓木の取付方法 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>窓木固定金具の工法 ・ 図示 (図面番号: )</p> <p>建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重に対応したか固定金具の間隔固定方法等は施工計画書として提出する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ 塗膜防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ FRP防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ シーリング</td> <td>・ 5年</td> </tr> </tbody> </table> <p>9 保証書</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防水工事</td> <td>・ 塗膜防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ FRP防水</td> <td>・ 10年</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ シーリング</td> <td>・ 5年</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材種	施工箇所	・ SR-1	シリコーン系	ガラス、水廻り	・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り	・ PS-2	ポリサルファイド系	打鍵ぎ目地、誘免目地	・ PU-2	ポリウレタン系	外壁 ・ 既設壁取り合い目地	工 法	種 別	施 工 箇 所	・ シーリング充填工法	・ シーリング再充填工法		・ 低層シーリング再充填工法	・ ブリッジ工法		工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・ 塗膜防水	・ 10年		・ FRP防水	・ 10年		・ シーリング	・ 5年	工事区分	材料名	保証年数	防水工事	・ 塗膜防水	・ 10年		・ FRP防水	・ 10年		・ シーリング	・ 5年
種類	材種	施工箇所																																															
・ SR-1	シリコーン系	ガラス、水廻り																																															
・ MS-2	変成シリコーン系	サッシ廻り																																															
・ PS-2	ポリサルファイド系	打鍵ぎ目地、誘免目地																																															
・ PU-2	ポリウレタン系	外壁 ・ 既設壁取り合い目地																																															
工 法	種 別	施 工 箇 所																																															
・ シーリング充填工法	・ シーリング再充填工法																																																
・ 低層シーリング再充填工法	・ ブリッジ工法																																																
工事区分	材料名	保証年数																																															
防水工事	・ 塗膜防水	・ 10年																																															
	・ FRP防水	・ 10年																																															
	・ シーリング	・ 5年																																															
工事区分	材料名	保証年数																																															
防水工事	・ 塗膜防水	・ 10年																																															
	・ FRP防水	・ 10年																																															
	・ シーリング	・ 5年																																															

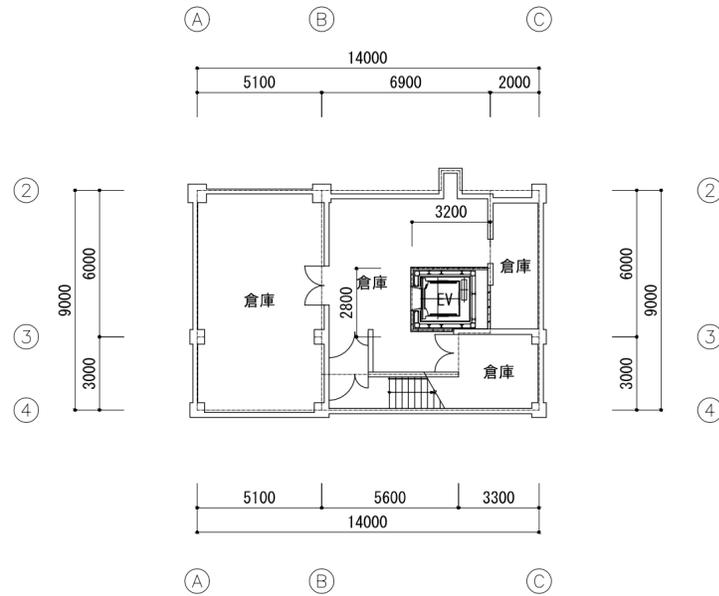


- 一凡例
- 資材搬入・搬出ルート
  - 敷き鉄板22mm範囲を示す (3048×1524 4枚)
  - 交通誘導員B位置を示す。(延べ8人程度)  
※資材搬出時には交通誘導員を配置すること。
  - A型 A型バリエード (鍾付き) (23m)
  - ラフタークレーン 50t 2日
  - 昇降用枠組足場及びシート養生  
仮設仮囲い(ガードフェンス目隠し型) H1800

- 一留意事項
- ※1) 工事車両は敷地内では最徐行で通行すること。
  - ※2) 工事期間中、常時施設が利用できるように配慮し、利用者の動線を確保すること。
  - ※3) 工事期間中、施設利用者が安全に利用できるように配慮し、利用者が多い時間帯は搬入・搬出を控えること。
  - ※4) 工程計画及び仮設計画、作業員の駐車スペースについては、施設側と十分に調整を行った上で進めること。
  - ※5) 必要に応じて適切な路面等の養生を行うこと。
  - ※6) 工事関係者以外が工事エリアに侵入できないように配慮する事。
  - ※7) 本仮設参考図に記載された仮設備等は発注側の積算上の考え方を示したものであって、施工条件として指定したものではありませんので、施工者の責任のもとに十分検討の上施工するものとする。
  - ※8) 搬入出時、適宜クレーンを利用すること。
  - ※9) 大型車両通行時には、交通誘導警備員を配置し施設出入口から工事区域出入口まで誘導すること。

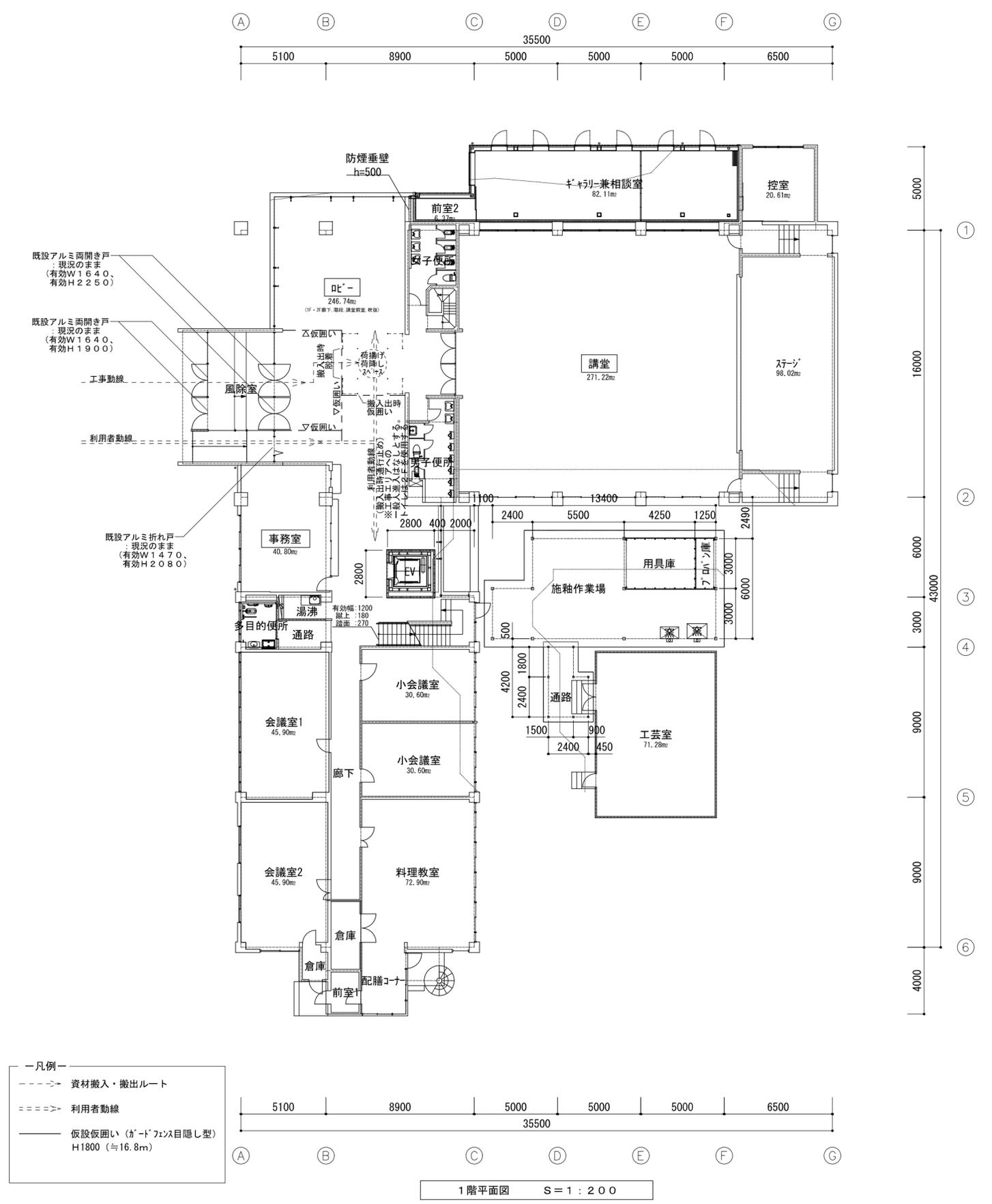
特記	工事名 桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図面番号 A-03	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認 田中 西尾 安井	管理建築士 1級 256630号 董室 敦司	印 董室
	図名 配置図			図面提出日 2024/07/31			



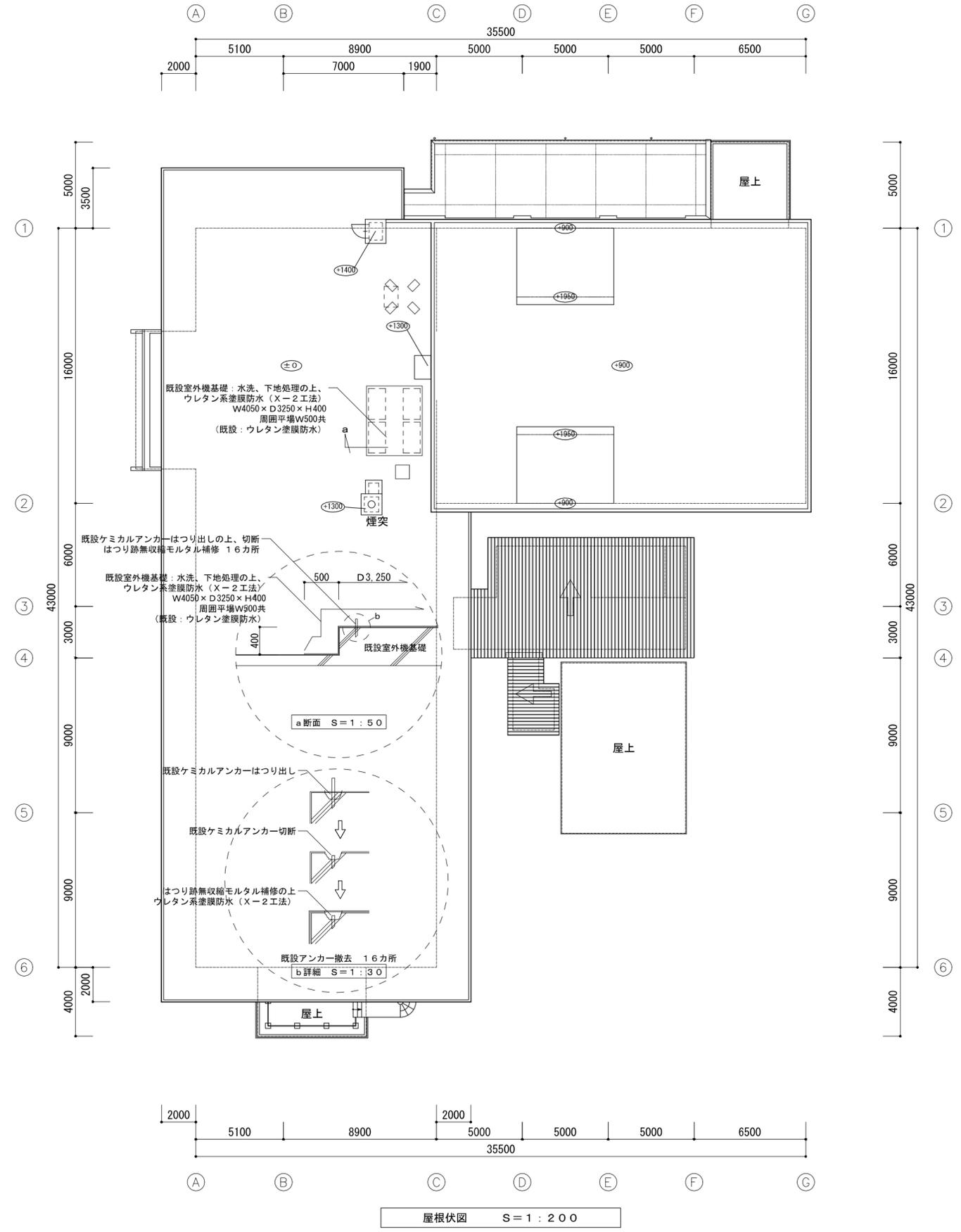
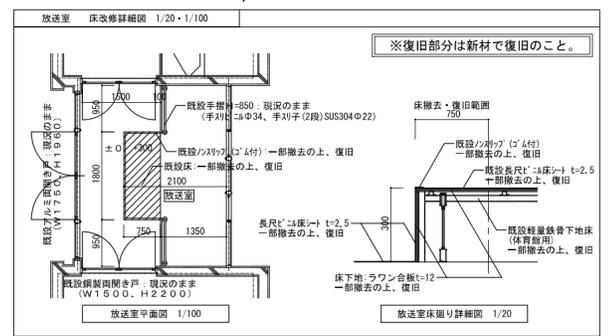
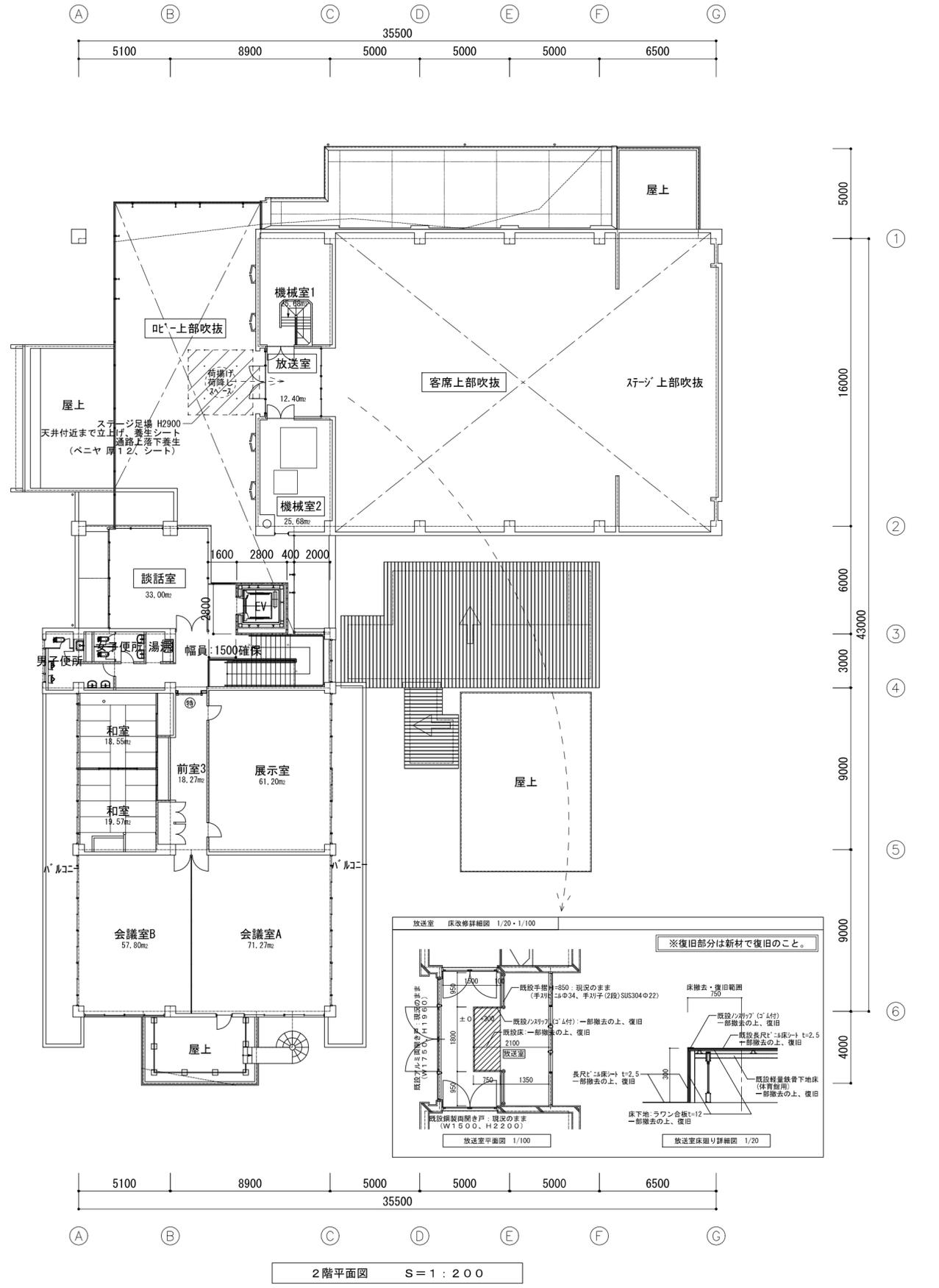


B1平面図 S=1:200

空調改修に伴う建築改修工事概要			
階	室名	部位	概要
屋上	屋上	室外機基礎	防水改修
2階	放送室	床	一部床撤去の上、復旧
1階	ロビー	荷揚げ仮設	荷揚げ仮設設置、撤去 養生、仮囲い
B1	-	-	改修無し

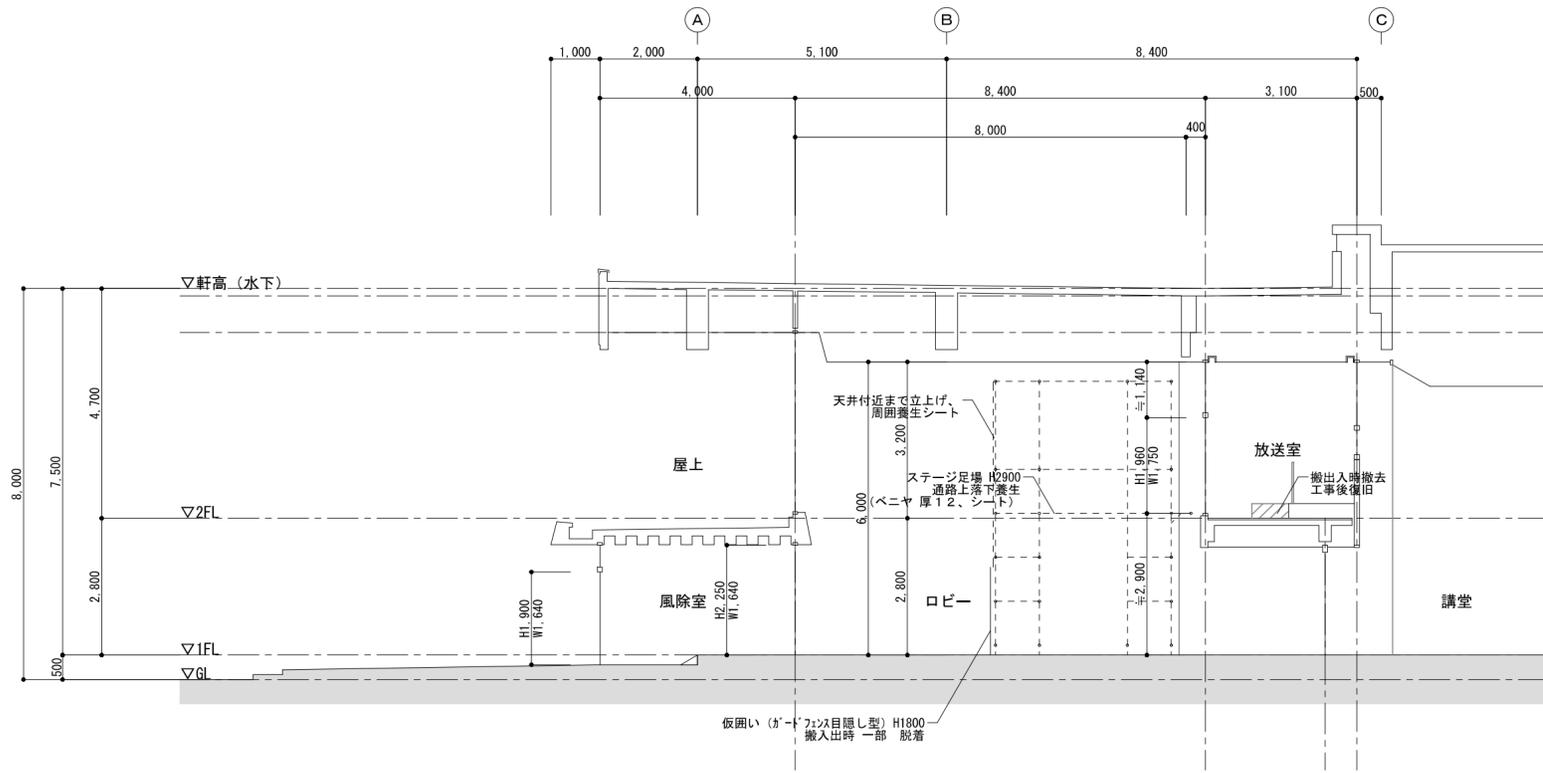


1階平面図 S=1:200



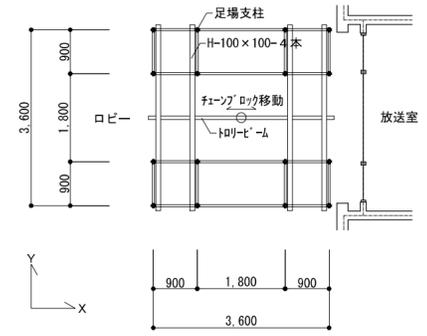
特記	工事名 桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事		縮尺 A2: 図示 A3: 図示	図面番号 A-05	 白鳳アーキテック株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名 2階平面図、屋根伏図						 1級 266630号 監査 敦司		

図面提出日 2024/07/31

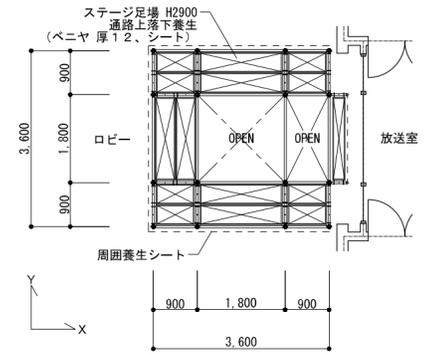


断面図 S = 1 : 100

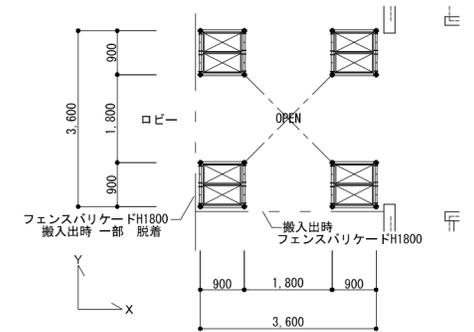
※機器の搬入搬出について  
 想定吊荷重：分解前の最大重量 464kg (分解目安最大重量：340kg)  
 既設及び新設GHPの重量及び寸法を確認の上、  
 仮設図を計画し、監督員の承諾をうけること。  
 耐荷重計算を行うこと。  
 搬入搬出経路も養生をすること。



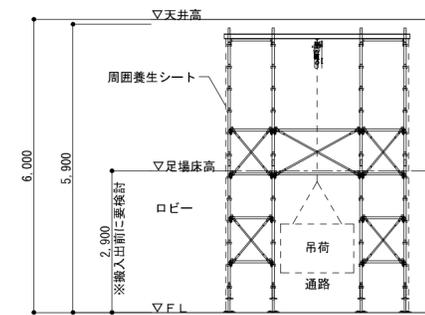
1FL+5900平面図 (参考図) S = 1 : 100  
 ※搬入出時の荷揚げ荷下ろし仮設参考図



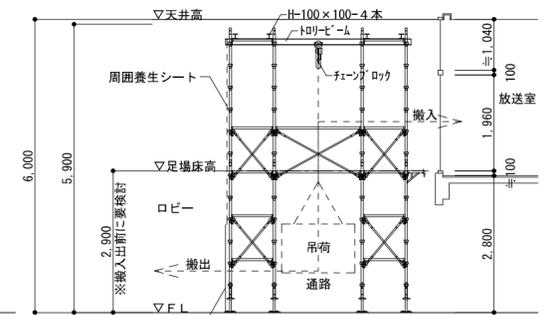
1FL+2900平面図 (参考図) S = 1 : 100  
 ※搬入出時の荷揚げ荷下ろし仮設参考図



1FL+1100平面図 (参考図) S = 1 : 100  
 ※搬入出時の荷揚げ荷下ろし仮設参考図



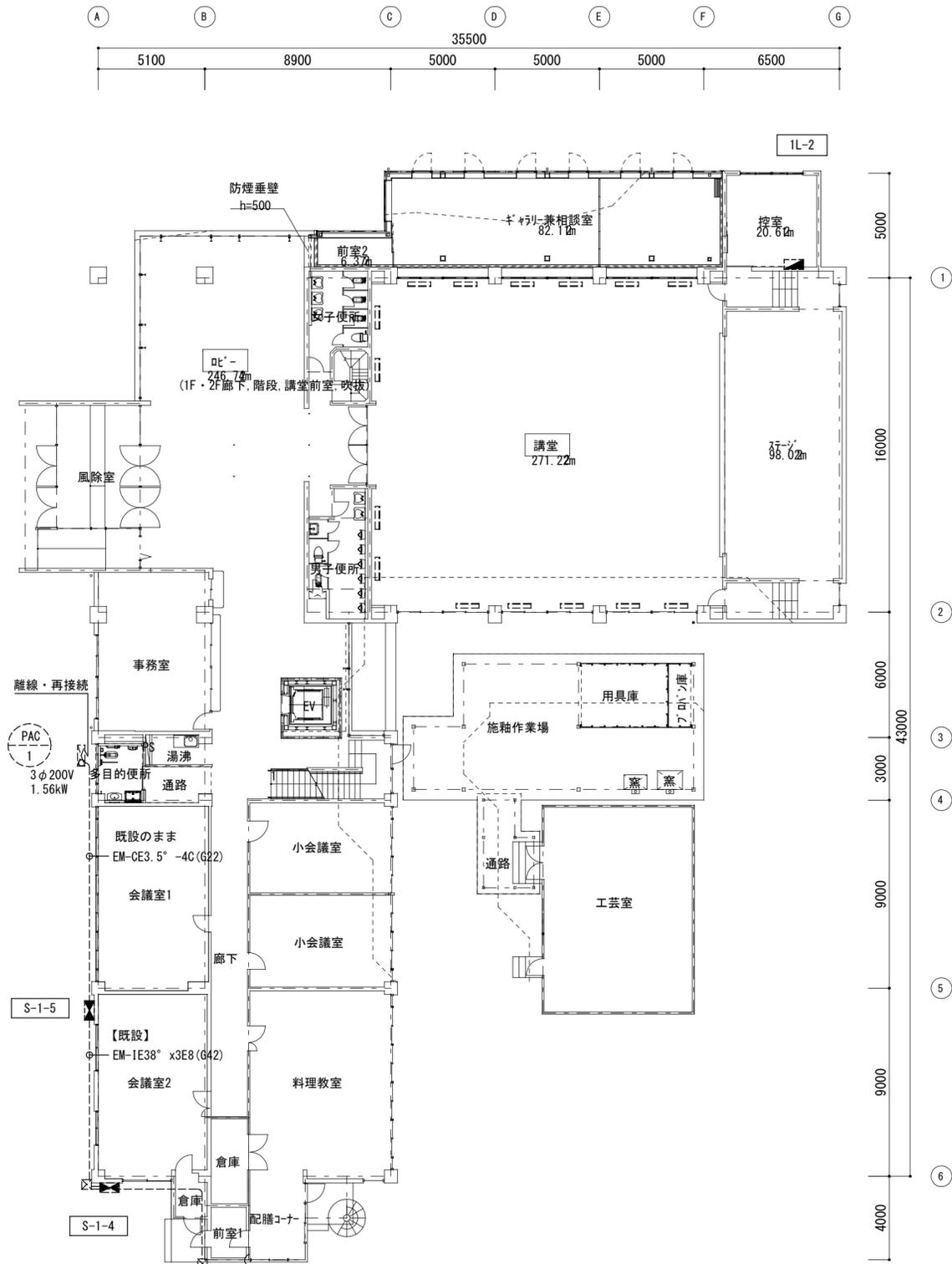
X方向立面図 (参考図) S = 1 : 100  
 ※搬入出時の荷揚げ荷下ろし仮設参考図



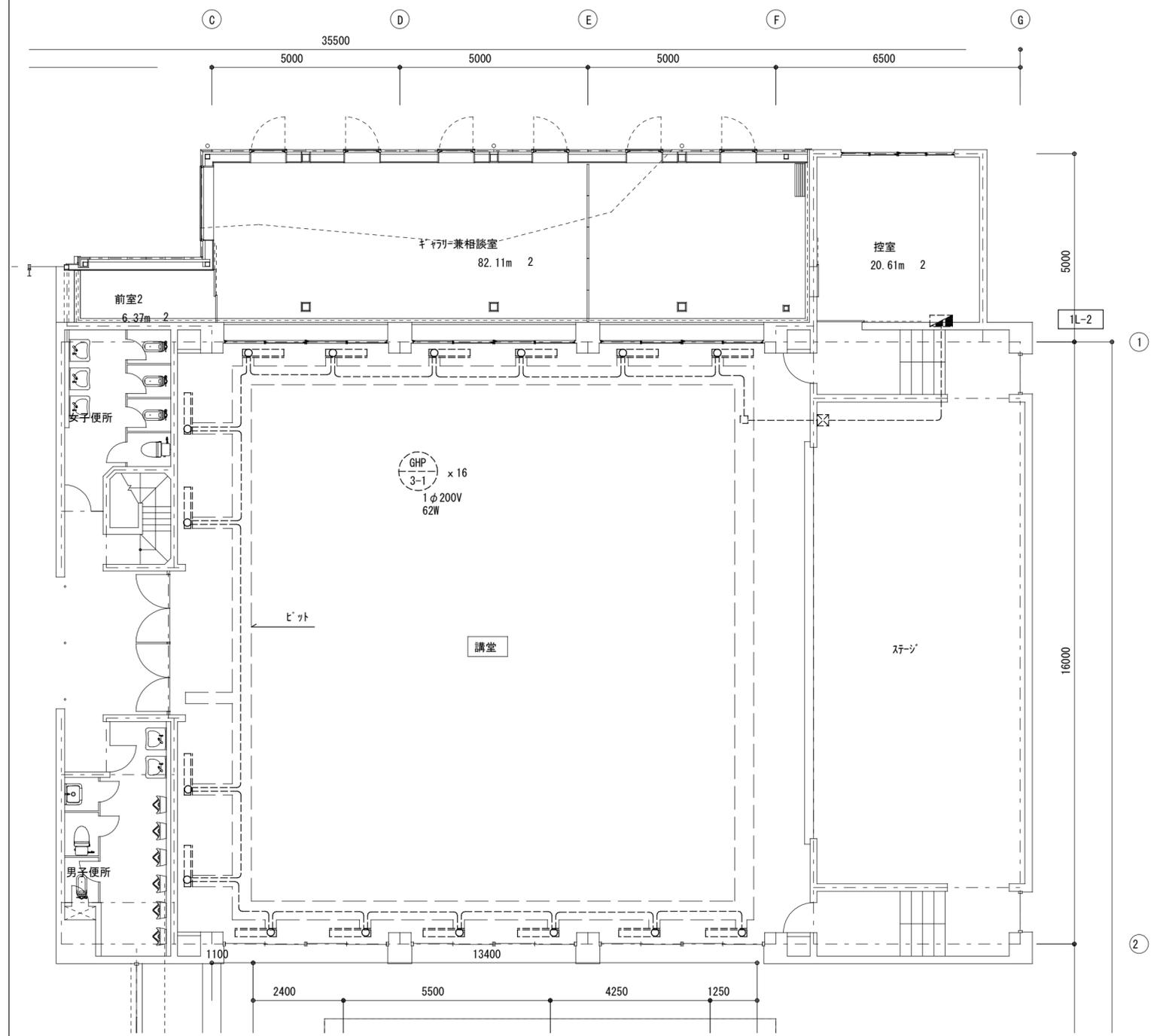
Y方向立面図 (参考図) S = 1 : 100  
 ※搬入出時の荷揚げ荷下ろし仮設参考図

特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認		管理建築士	印
	図名	断面図、仮設搬入出架台参考図	縮尺 A2 : 1 / 100 A3 : 1 / 141				図面番号 A-06	1級 266630号 重 宣 敦 司	
						図面提出日	2024/07/31		



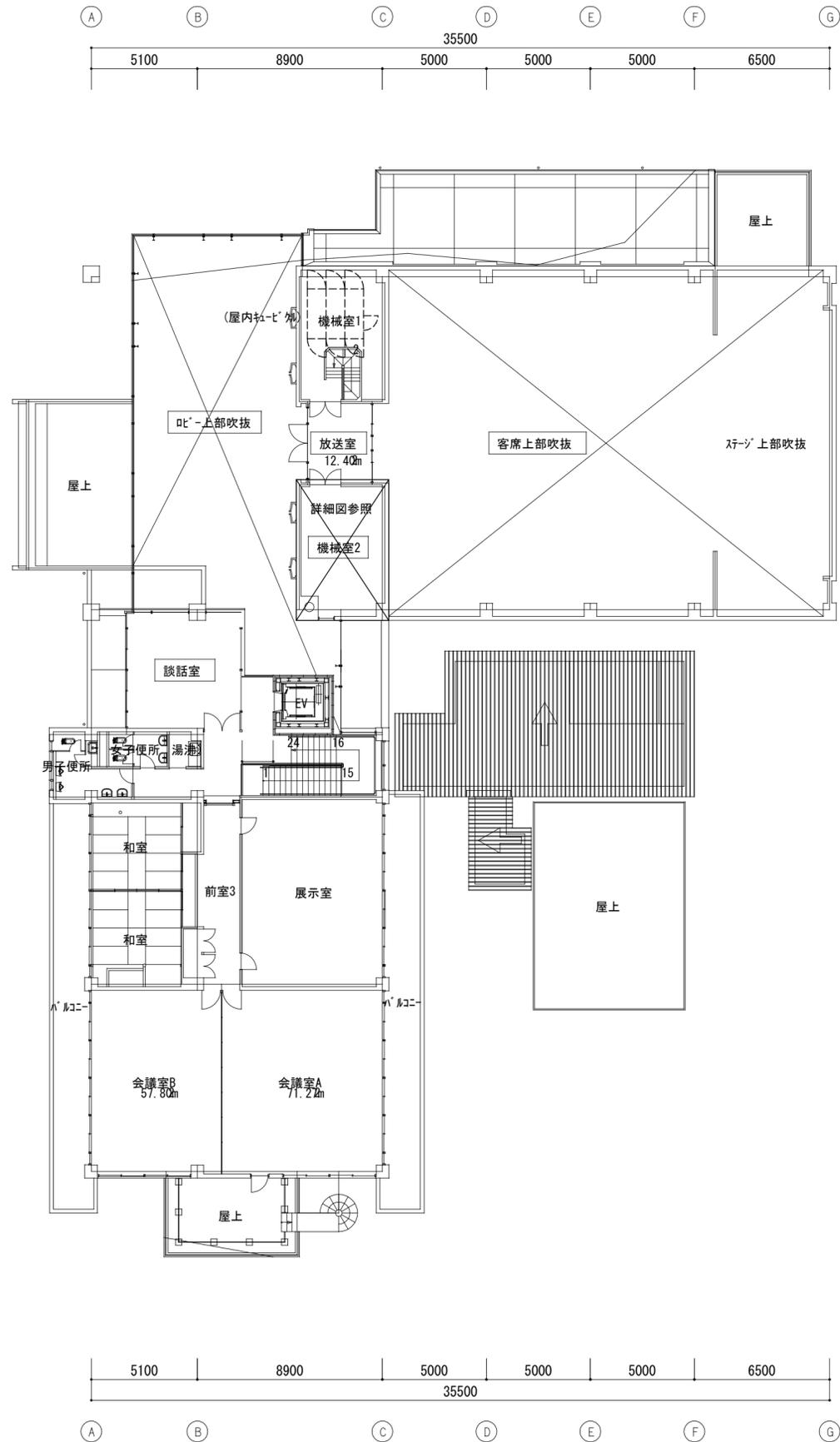


1階平面図 S=1:200

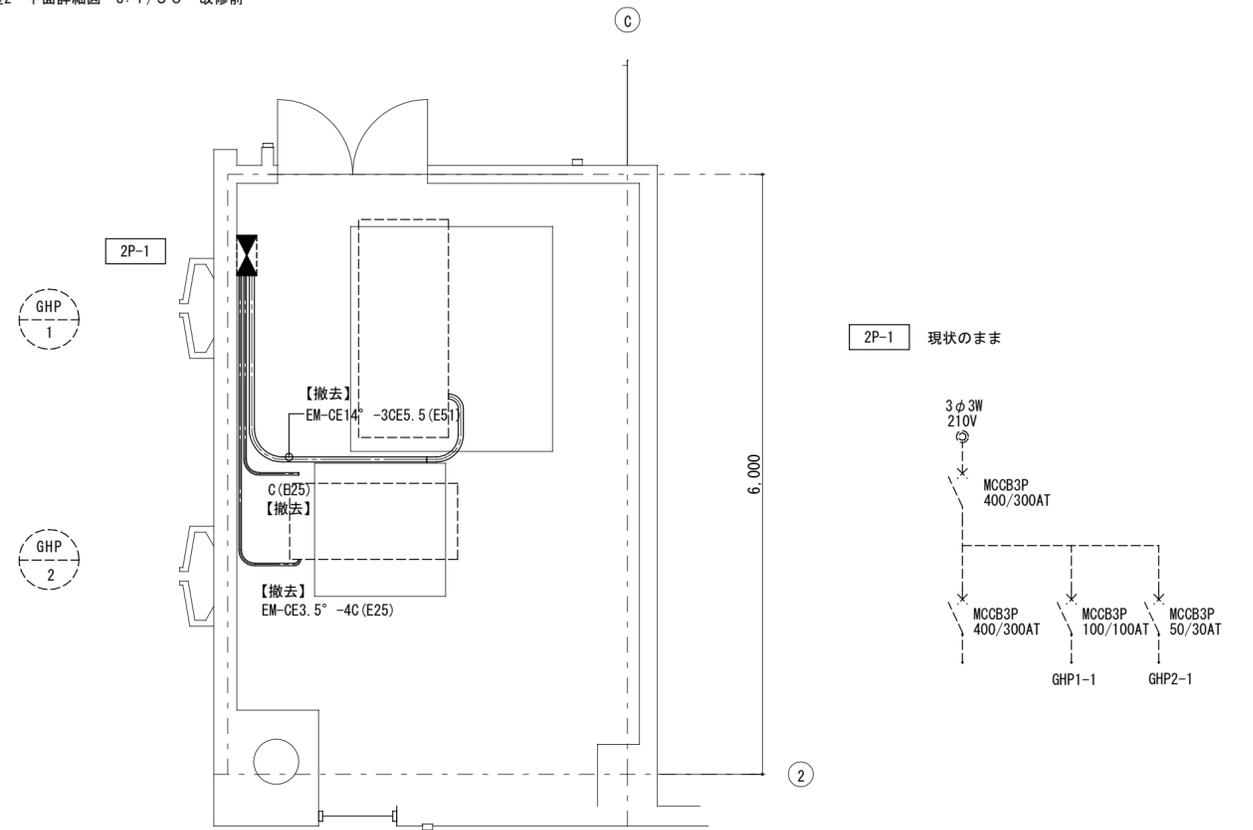


講堂 平面図 S=1:100

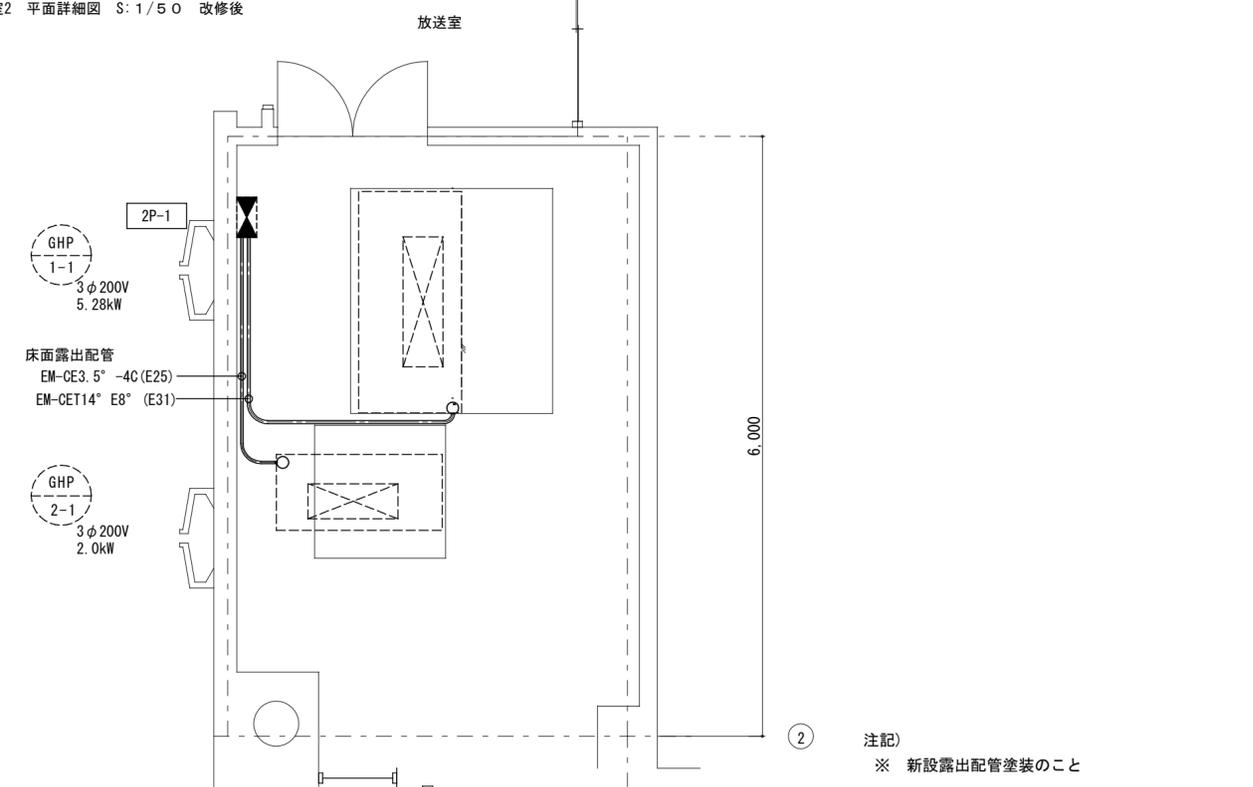
講堂	空調機更新			
機器記号	既設配線	処置	更新後配線サイズ	備考
GHP-3-1	EM-EEF2.0-3C (レフト内ころがし)	既設のまま		機器内ジョイントボックス EEF2.0-3C 500mm程度見込む



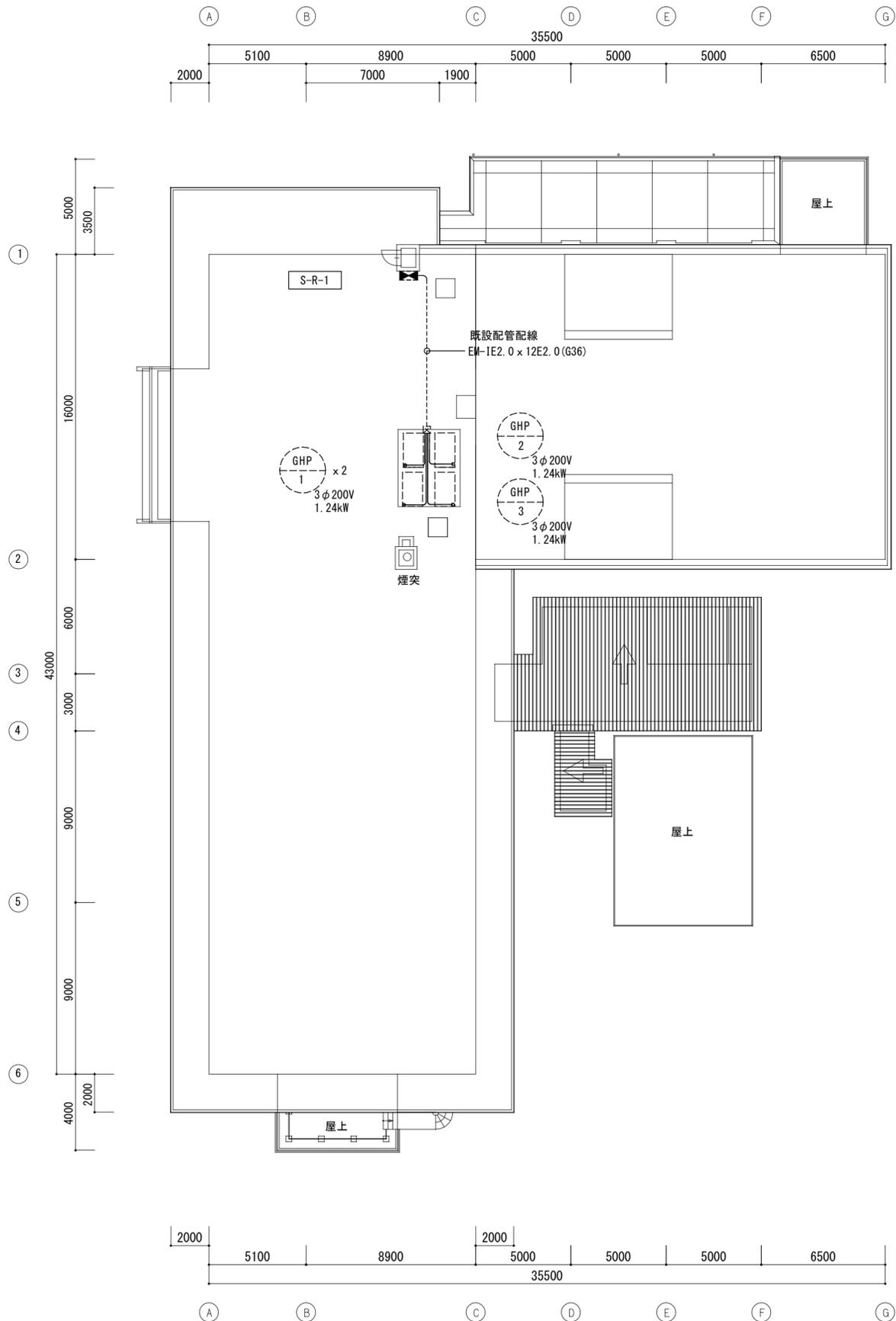
機械室2 平面詳細図 S:1/50 改修前



機械室2 平面詳細図 S:1/50 改修後



特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事		 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号)	承認	管理建築士	印
	図名	2階平面図、屋根伏図	縮尺 A 2:1/200, 1/50 A 3:1/282, 1/72		図面番号 E-03	〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	 1級 256630号 萱室 敦司	 萱室 敦司
						図面提出日	2024/07/31	



屋根伏図 S = 1 : 200

S-R-1

3φ3W210V



	GHP-1外機	GHP-1外機	GHP-2外機	GHP-3外機
更新後	冷 1.24 kW 暖 0.74 kW			
既設	冷 0.22 kW 暖 0.24 kW			

RF階	空調機更新			
機器記号	既設配線	処置	更新後配線サイズ	備考
GHP-3-1, 3-2, 3-3	EM-1E2.0x3E2.0 (G22)	PBox以降更新	EM-CE3.5° x4C (G22)	フルボックス内既設と接続

注記  
※ 新設露出配管塗装のこと

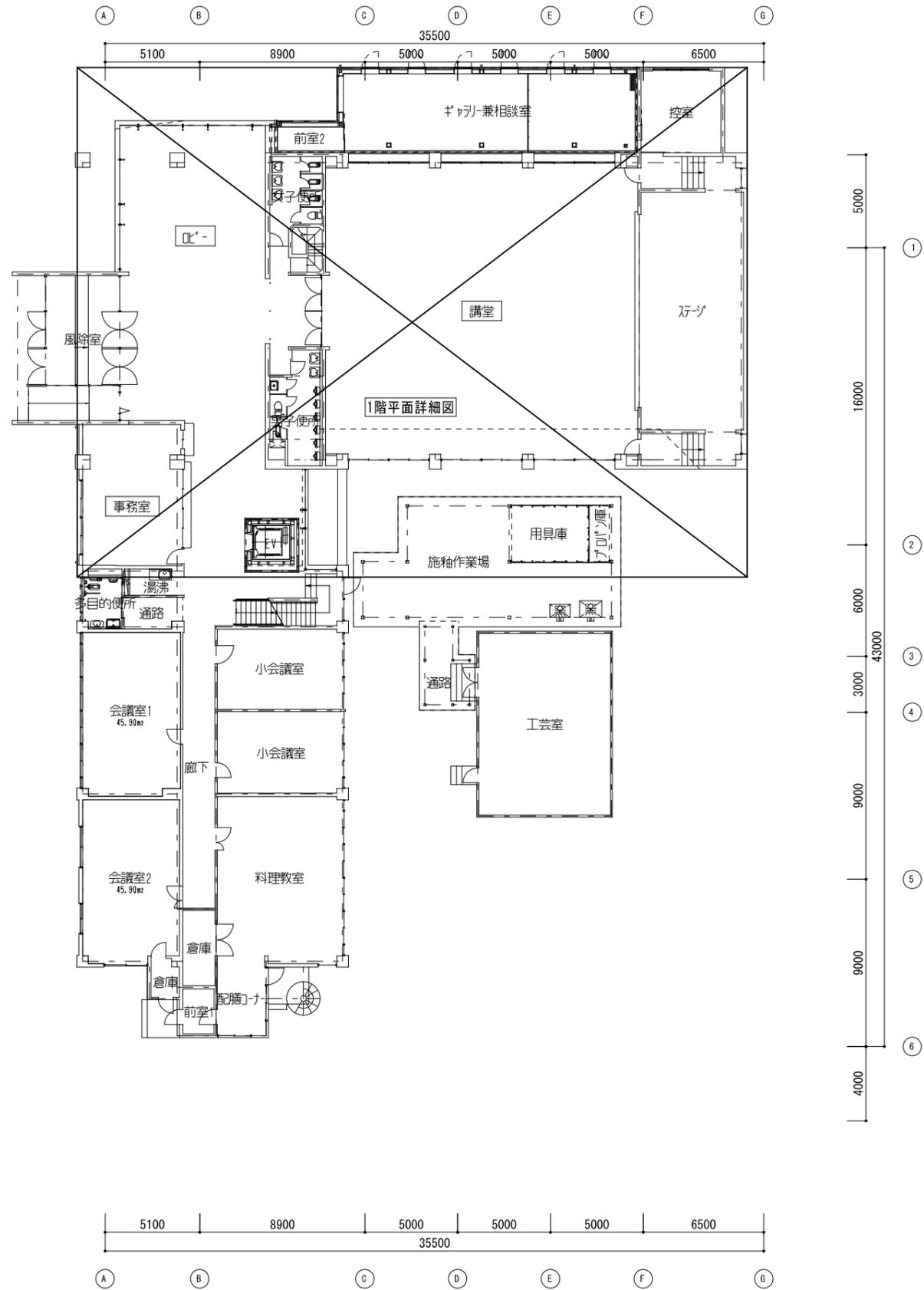


空調機器表 (新設)

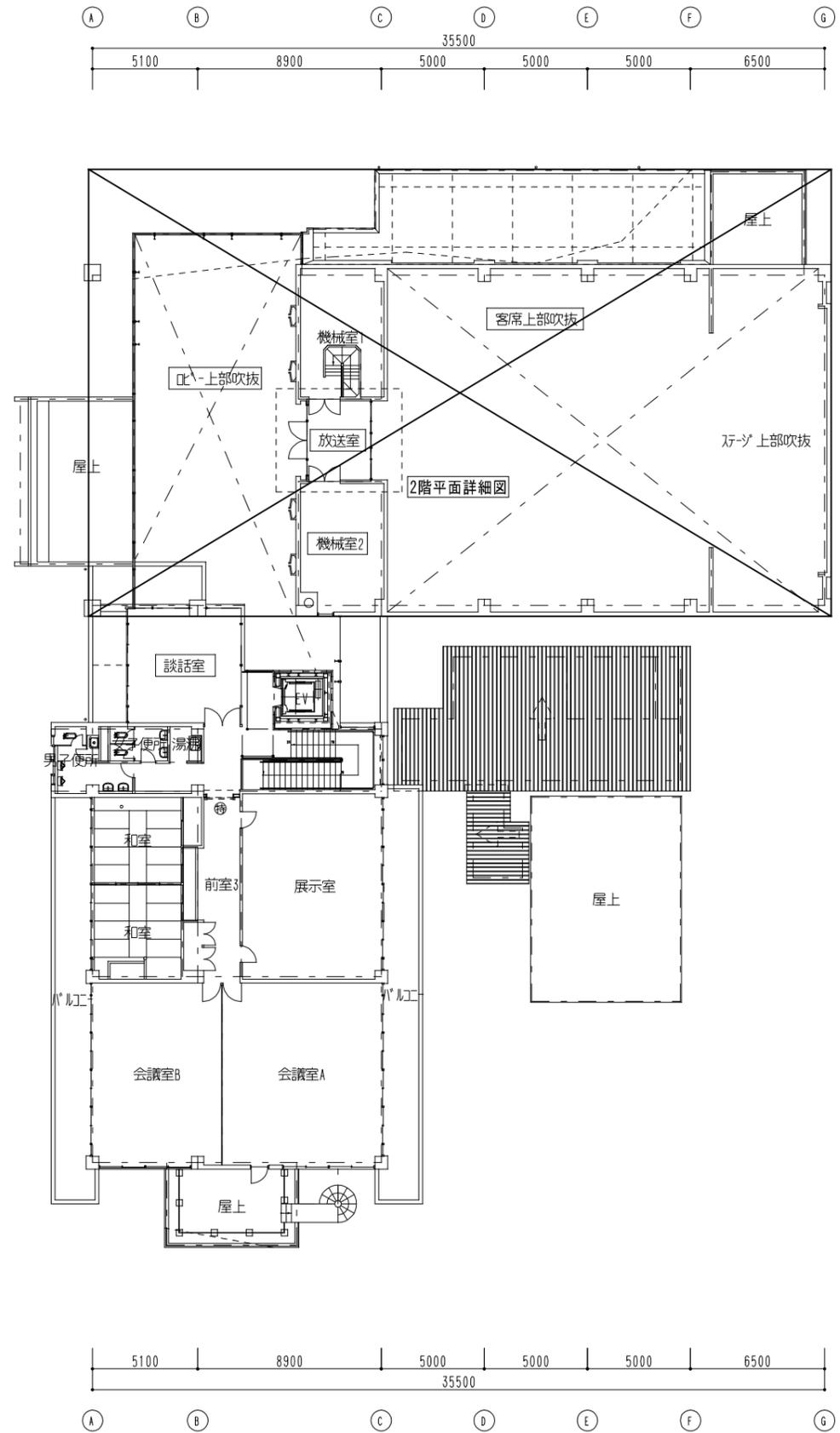
機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)		
GHP-1	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 1.24×2	1+1	PH階
	U-GH560U1DR×2	冷房能力 56.0×2 kW 燃焼消費量 45.3×2 kW			暖 0.74×2		1階講堂系統
	YNZP-560L1DB×2	暖房能力 63.0×2 kW 燃焼消費量 43.3×2 kW					※冷媒配管洗浄再利用
	GXUBP-560G×2	付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					参考重量：705kg
		基礎 防振架台、既設コンクリート基礎（再利用）					
GHP-1-1	ガストロップエアコン	形式 床置型（ダクト接続型）・背面吸込型	3-200	---	冷 5.28	1	1階講堂（上部）
	S-G1120BDS2	冷房能力 112.0 (---) kW			暖 5.28		※搬入は分割して行い
	YZFP-1120MA	暖房能力 125.0 (---) kW			低温---		現地にて組立
	FGXVP-1120MA	付属品 ダクト接続ファン、前面閉塞パネル、ワイヤードリフト、他一式					参考重量：464kg
		基礎 既設コンクリート基礎、既設鋼材					
GHP-2	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 1.24	1	PH階
	U-GH560U1DR	冷房能力 56.0 kW 燃焼消費量 45.3 kW			暖 0.74		1階ロビー
	YNZP-560L1DB	暖房能力 63.0 kW 燃焼消費量 43.3 kW					2階談話室系統
	GXUBP-560G	付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					※冷媒配管洗浄再利用
		基礎 防振架台、既設コンクリート基礎（再利用）					参考重量：705kg
GHP-2-1	ガストロップエアコン	形式 床置型（ダクト接続型）・背面吸込型	3-200	---	冷 2.00	1	ロビー（上部）
	S-G560BDS26	冷房能力 56.0 (---) kW			暖 2.00		※搬入は分割して行い
	YZFP-560MA	暖房能力 63.0 (---) kW			低温---		現地にて組立
	FGXVP-560MA	付属品 ダクト接続ファン、前面閉塞パネル、ワイヤードリフト、他一式					参考重量：273kg
		基礎 既設コンクリート基礎（必要に応じて増打ち）、既設鋼材					
GHP-3	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 1.24	1	PH階
	U-GH560U1DR	冷房能力 56.0 kW 燃焼消費量 45.3 kW			暖 0.74		1階講堂へリモーター系統
	YNZP-560L1DB	暖房能力 63.0 kW 燃焼消費量 43.3 kW					※冷媒配管洗浄再利用
	GXUBP-560G	付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					参考重量：705kg
		基礎 防振架台、既設コンクリート基礎（再利用）					
GHP-3-1	ガストロップエアコン	形式 へリモーター用床置型	1-200	---	冷 0.062	16	1階講堂（下部）
	S-G28PS1	冷房能力 2.8 (---) kW			暖 0.045		参考重量：29kg
	YZFP-28NB	暖房能力 3.2 (---) kW			低温---		
	FGXLP-28NB	付属品 取付木台、ワイヤードリフト×2、他一式					
R-1	集中リモコン	形式 液晶リモコン：最多16系統256台	1-100			1	1階事務室
		※今回更新空調機及び、既設空調の調整・再設定を行う事					
PAC-1	パッケージエアコン	形式 壁掛型	3-200	2.00	冷 1.56	1	1階事務室
	CU-P80G7B	冷房能力 7.1 (1.9~8.0) kW			暖 1.55		1階事務室系統
	RPK-GP80RGH4	暖房能力 8.0 (1.7~10.6) kW			低温 2.75		※冷媒配管洗浄再利用
	SSRA-80CT	付属品 ワイヤードリフト、ドレンアップ、他一式共					SUS転倒防止金物支持
		基礎 タイプA（再利用）					参考重量：66kg
注記	※室外機一室内機間の2次側配線は冷媒管と抱き合わせの上本工事とし、リモコン配線共本工事とする。 ※消費電力は参考とする。 ※床置型（ダクト接続型）機器は既設風量確認の上風量調整を行う事 ※室外機基礎に用いるケミカルアンカーについては、「建築設備耐震設計施工指針」に基づいた施工を行う事。又、引抜試験（第三者）を行う事。 ※KGHP1-1、2-1機器の現地組立：機器メーカー工事 機械室内までの搬入：施工工事店工事						

空調機器表 (既設)

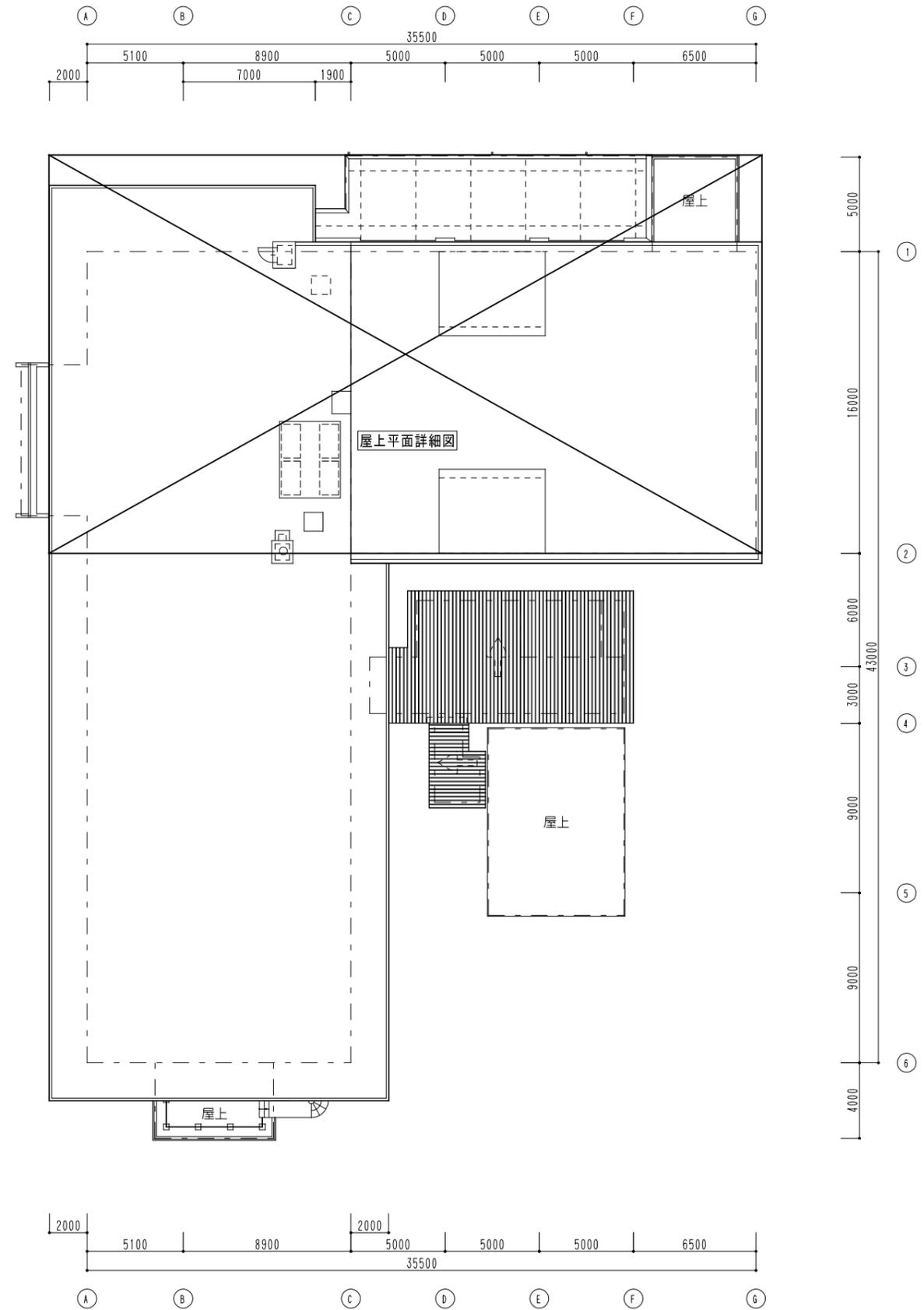
機器番号	機器名称 参考型番	形式・仕様	電気容量			台数	設置場所及び備考
			電源	圧縮機	消費電力		
			(V)	(KW)	(KW)		
KGHP-1	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 ---	1+1	PH階
	SGP-HL560M1GZ×2	冷房能力 56.0×2 kW 燃焼消費量 45.3×2 kW			暖 ---		1階講堂系統
	※撤去	暖房能力 63.0×2 kW 燃焼消費量 43.3×2 kW					※冷媒回収・破壊処理を行う事
		付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					参考重量：705kg
		基礎 コンクリート基礎（残置）					
KGHP-1-1	ガストロップエアコン	形式 床置型（ダクト接続型）・背面吸込型	3-200	---	冷 ---	1	1階講堂（上部）
	FGPVP-1120M	冷房能力 112.0 (---) kW			暖 ---		※搬入は分割して行い
	※撤去	暖房能力 125.0 (---) kW			低温---		参考重量：464kg
		付属品 ダクト接続ファン、リモコン、他一式					
		基礎 既設コンクリート基礎（残置）、既設鋼材（一時撤去）					
KGHP-2	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 ---	1	PH階
	SGP-HL560M1GZ	冷房能力 56.0 kW 燃焼消費量 45.3 kW			暖 ---		1階ロビー
	※撤去	暖房能力 63.0 kW 燃焼消費量 43.3 kW					2階談話室系統
		付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					※冷媒回収・破壊処理を行う事
		基礎 コンクリート基礎（残置）					参考重量：705kg
KGHP-2-1	ガストロップエアコン	形式 床置型（ダクト接続型）・背面吸込型	3-200	---	冷 ---	1	ロビー（上部）
	SGPVP-560M	冷房能力 56.0 (---) kW			暖 ---		※搬入は分割して行い
	※撤去	暖房能力 63.0 (---) kW			低温---		
		付属品 ダクト接続ファン、リモコン、他一式					参考重量：273kg
		基礎 既設コンクリート基礎（必要に応じて増打ち）、既設鋼材					
KGHP-3	ガストロップエアコン	形式 屋外機	3-200	---	冷 ---	1	PH階
	SGP-HL560M1GZ	冷房能力 56.0 kW 燃焼消費量 45.3 kW			暖 ---		1階講堂へリモーター系統
	※撤去	暖房能力 63.0 kW 燃焼消費量 43.3 kW					※冷媒回収・破壊処理を行う事
		付属品 他一式共 冷媒管：25.58×15.88					参考重量：705kg
		基礎 コンクリート基礎（残置）					
KGHP-3-1	ガストロップエアコン	形式 へリモーター用床置型	1-200	---	冷 ---	16	1階講堂（下部）
	FGXLP-28M	冷房能力 2.8 (---) kW			暖 ---		参考重量：29kg
	※撤去	暖房能力 3.2 (---) kW			低温---		
		付属品 取付木台、リモコン×2、他一式					
KR-1	集中リモコン	形式	1-100			1	1階事務室
	※撤去						
KPAC-1	パッケージエアコン	形式 壁掛型	3-200	2.00	冷 ---	1	1階事務室
	SPW-CHVP80E	冷房能力 7.1 (1.9~8.0) kW			暖 ---		1階事務室系統
	※撤去	暖房能力 8.0 (1.7~10.6) kW			低温---		※冷媒回収・破壊処理を行う事
		付属品 リモコン、ドレンアップ、他一式共					
		基礎 タイプA（残置）					参考重量：54kg
注記	※KGHP1-1、2-1機器内にあるアズベスト部品は、敷地内駐車場にて解体・取出し、適正な養生を行い、アズベスト分別処分を行う事 ※機器類は有価物処分を行う事						



特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	田中 西尾 安井	管理建築士	印
	図名	1階平面図(空調設備)	縮尺	A2: 1/200 A3: 1/282			図番番号	M-03	1級 256630号	菅室 敬司
							図面提出日	2024/07/31		

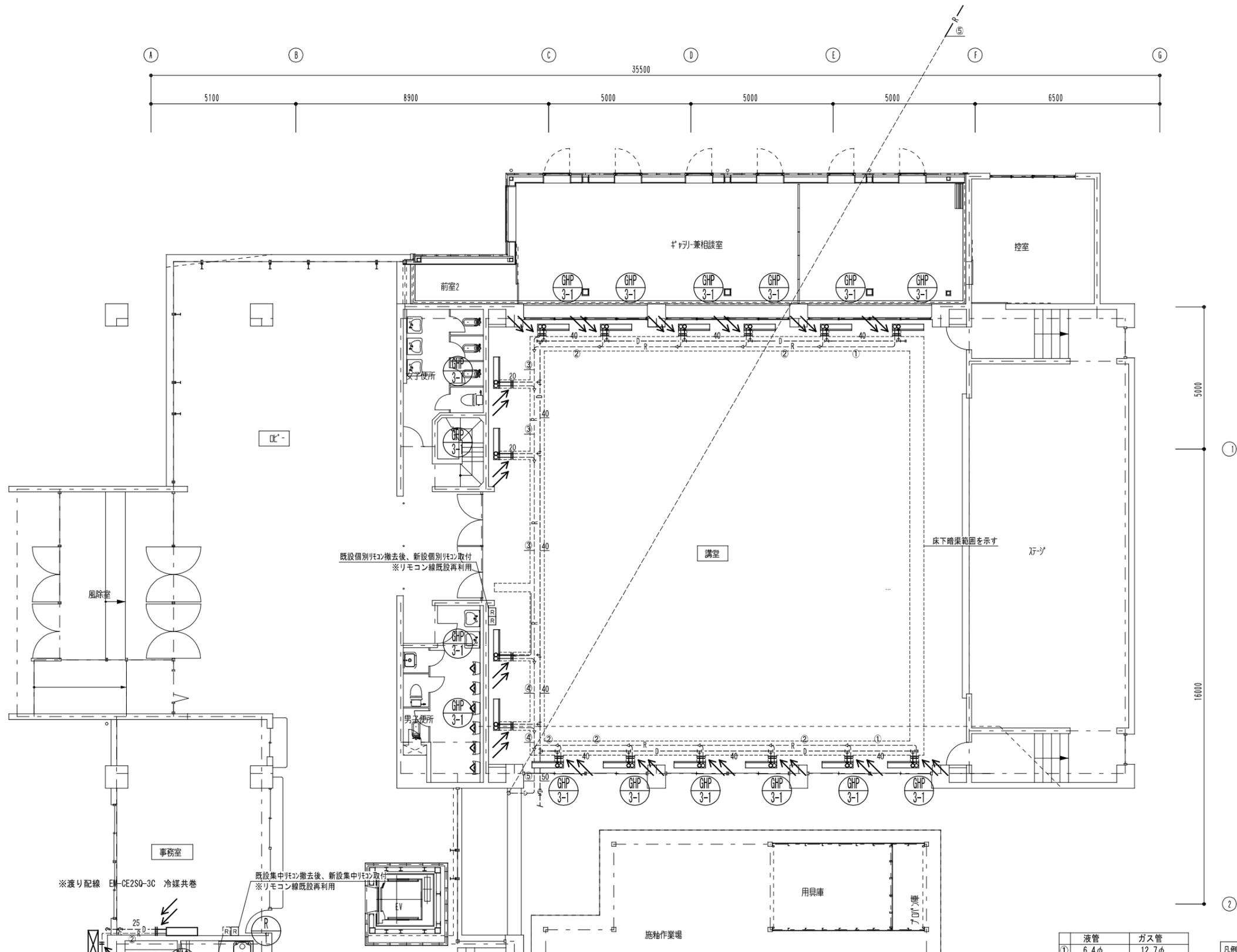


2階平面図 S=1:200



屋根伏図 S=1:200

特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事			 白鳳アーキテック 株式会社	1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	2階・屋上平面図(空調設備)	縮尺 A2: 1/200 A3: 1/282	図番番号 M-04			 1級 256630号 萱室 敬司	図面提出日	2024/07/31



既設個別エアコン撤去後、新設個別エアコン取付  
※リモコン線既設再利用

既設集中エアコン撤去後、新設集中エアコン取付  
※リモコン線既設再利用

※渡り配線 EM-CE2SQ-3C 冷媒共巻

EHP系統集中エアコン(残置)  
※事務所系統は含まず、付近に個別エアコン取付

	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	15.8φ	28.6φ

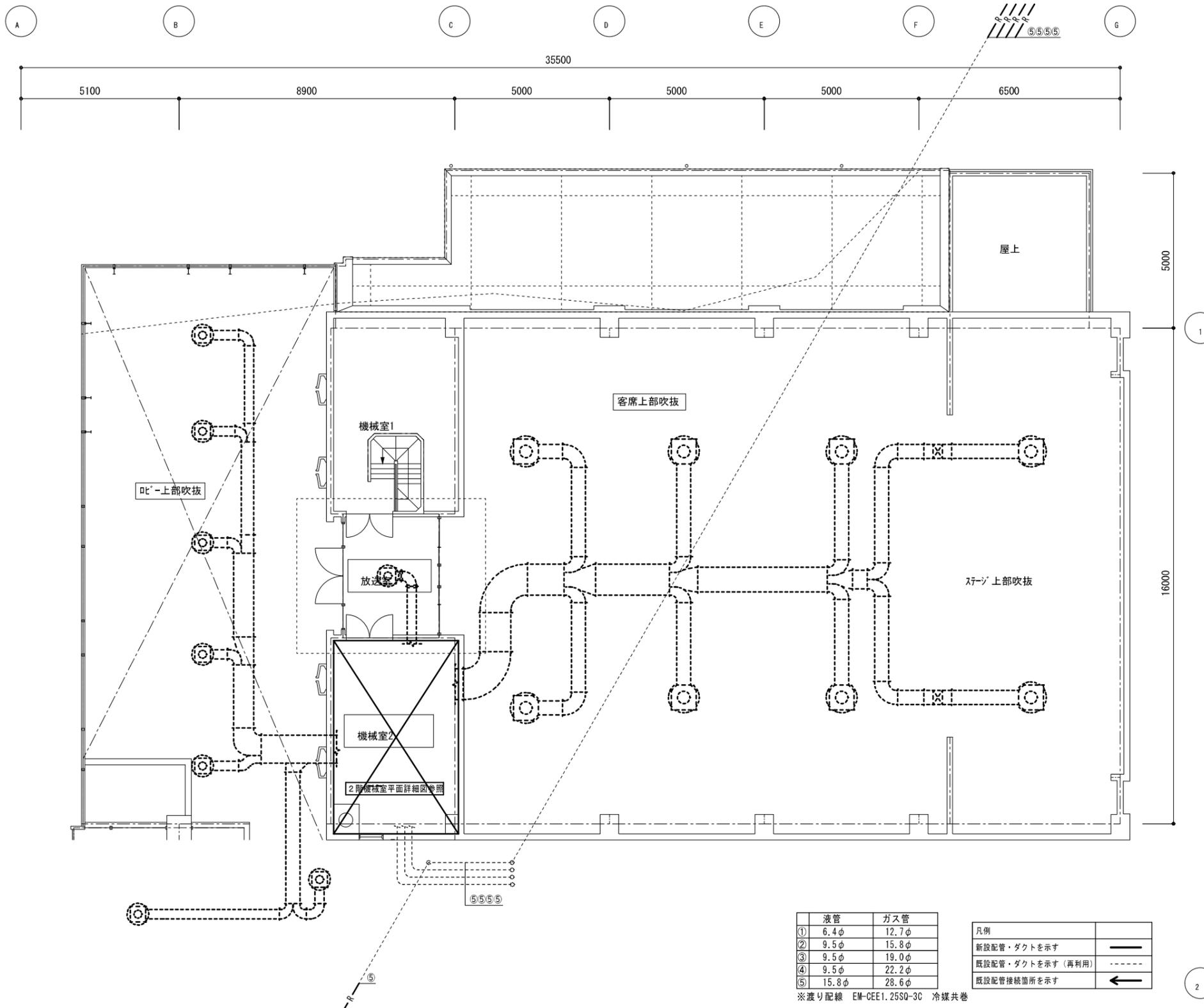
凡例	
新設配管・ダクトを示す	——
既設配管・ダクトを示す(再利用)	----
既設配管接続箇所を示す	←

※渡り配線 EM-CEE1.25SQ-2C 冷媒共巻

1階平面詳細図 S=1:100

特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事			 1級建築士事務所 登録(三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認  管理建築士 1級 256630号 萱室 敬司	印  萱室
	図名	1階平面詳細図	縮尺	A2: 1/100 A3: 1/141			

図面提出日 2024/07/31

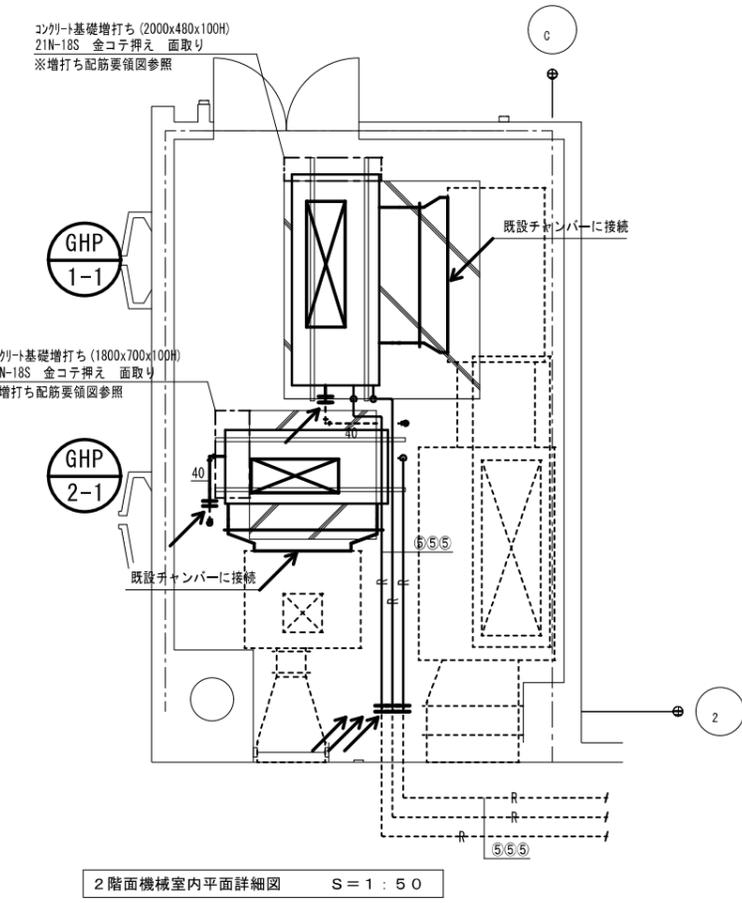
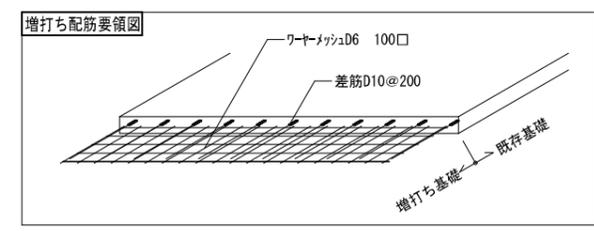


	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	15.8φ	28.6φ

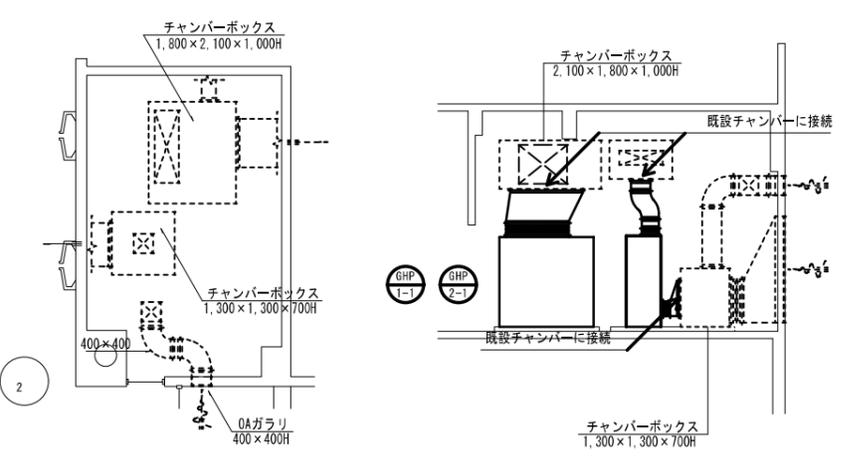
※渡り配線 EM-CEE1.25SQ-3C 冷媒共巻

凡例	
新設配管・ダクトを示す	——
既設配管・ダクトを示す(再利用)	- - - -
既設配管接続箇所を示す	←

2階(1階上部)平面詳細図 S=1:100



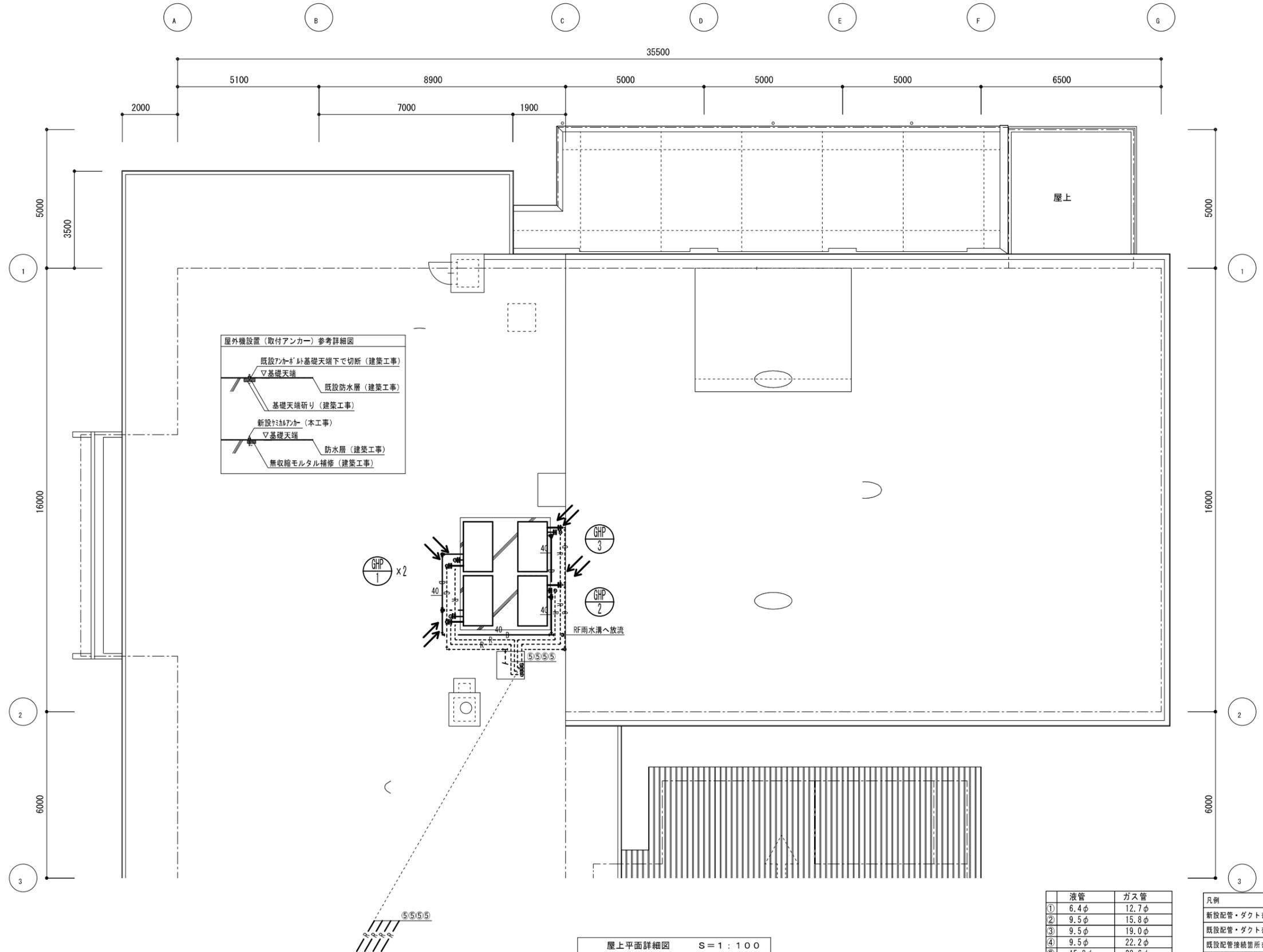
2階機械室内平面詳細図 S=1:50



2階機械室上部詳細図

2階機械室断面詳細図





屋外機設置 (取付アンカー) 参考詳細図

既存アンカーが基礎天端下で切断 (建築工事)  
 ▽基礎天端  
 既存防水層 (建築工事)  
 基礎天端研り (建築工事)  
 新設アンカー (本工事)  
 ▽基礎天端  
 防水層 (建築工事)  
 無収縮モルタル補修 (建築工事)

	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	15.8φ	28.6φ

凡例	
新設配管・ダクトを示す	——
既存配管・ダクトを示す (再利用)	----
既存配管接続箇所を示す	←

屋上平面詳細図 S=1:100

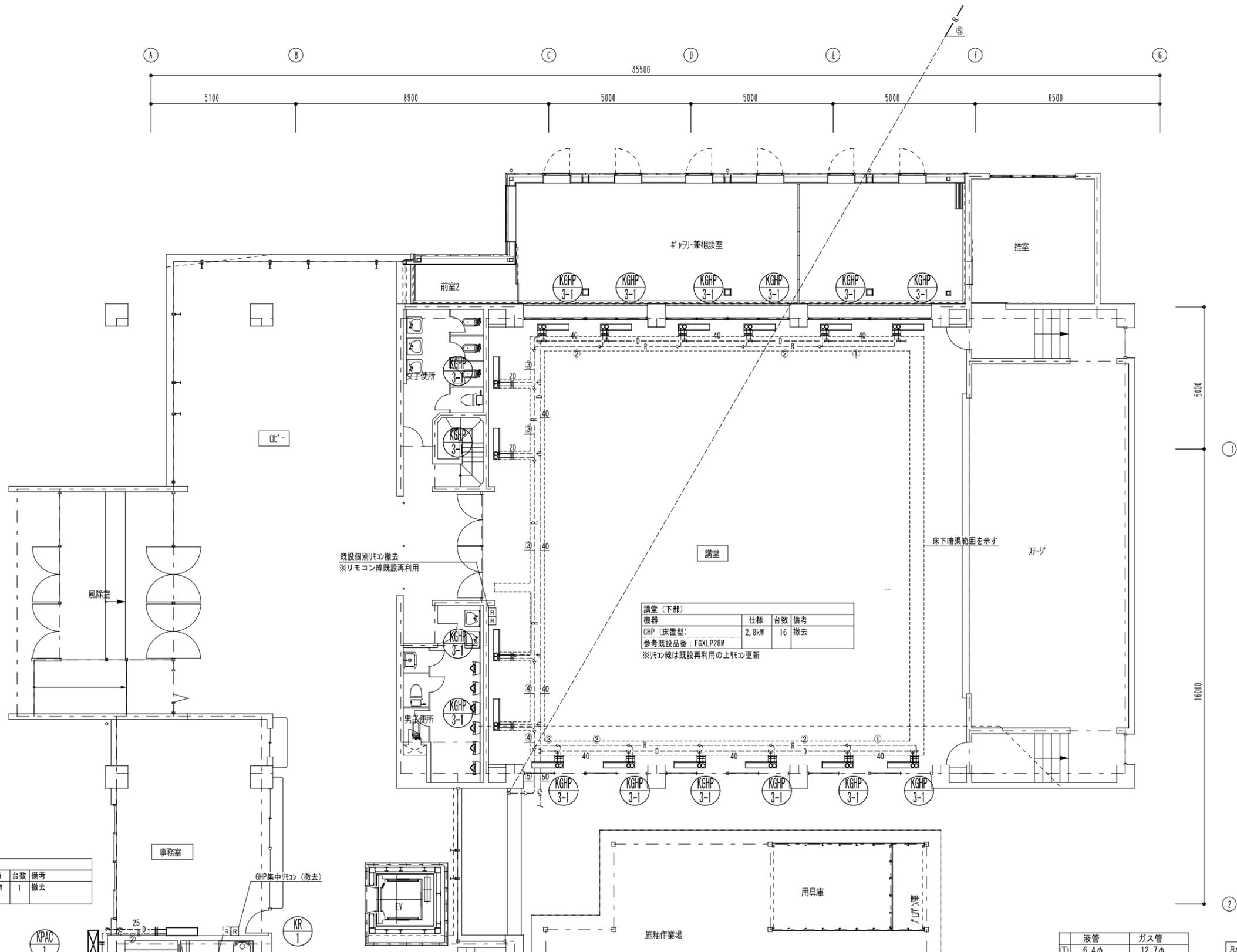
※新設ガス管はSOP (白) 塗装仕上げとする。  
 ※新設ドレン管は内面被覆鋼管 (VB) 塗装仕上げとする。

特記	既設冷媒配管の洗浄を行うこと	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事		 1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	承認	管理建築士	印
	図名	屋上平面詳細図 (空調設備)	縮尺	A2: 1/100 A3: 1/141		図番	M-07	 1級 256630号 豊室 敬司

承認

1級 256630号  
 豊室 敬司

図面提出日 2024/07/31



講堂 (下部)

機器	仕様	台数	備考
GHP (床置型)	2.8kW	16	撤去
参考既設品番: FGXL P28M			
※リコン線は既設再利用の上リコン更新			

講堂 (下部)

機器	仕様	台数	備考
EHP (壁掛型)	8.0kW	1	撤去
参考既設品番: SPW-CHVP80E			
※リコン線は既設再利用の上リコン更新			

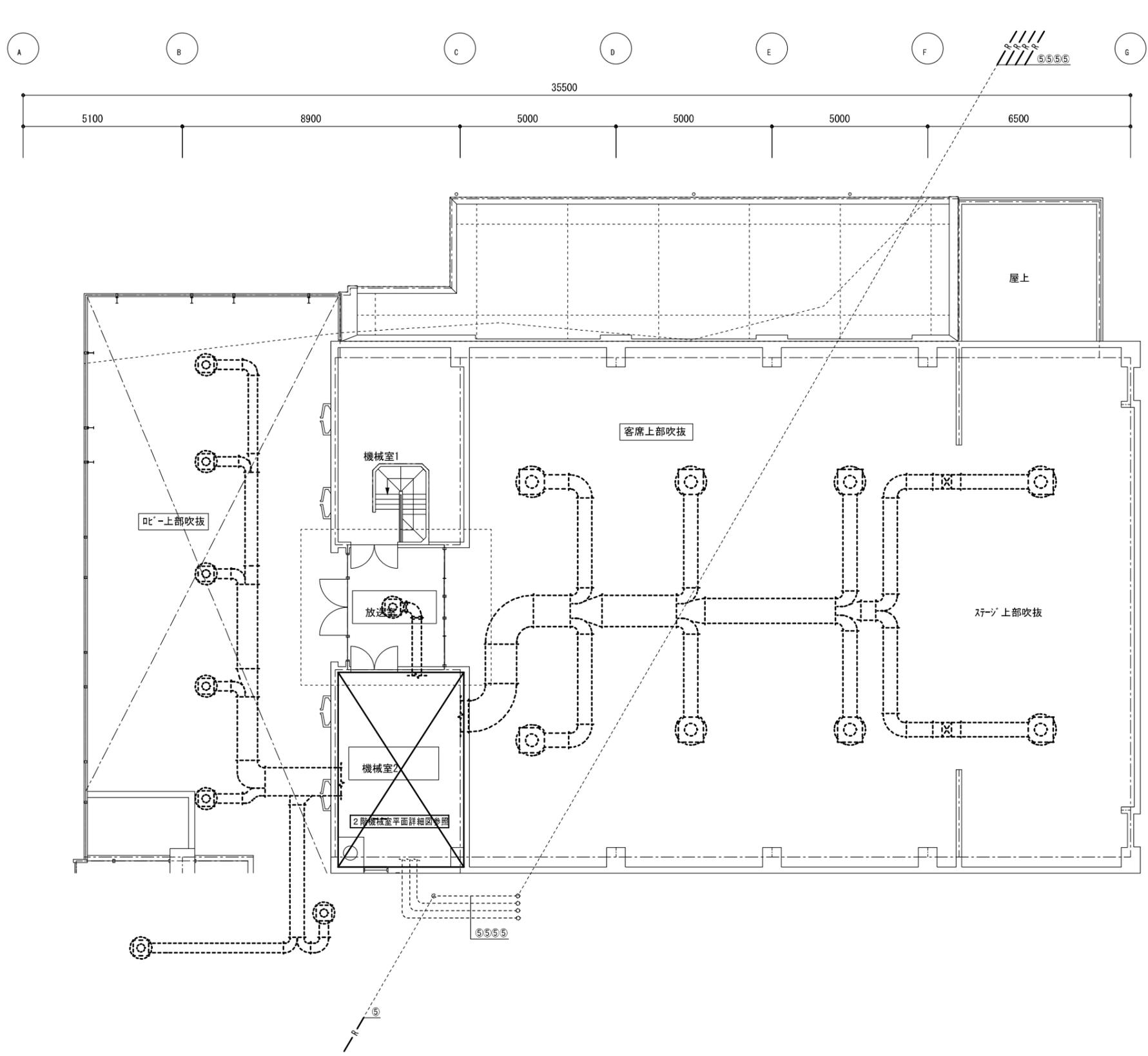
	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	15.8φ	28.6φ

凡例

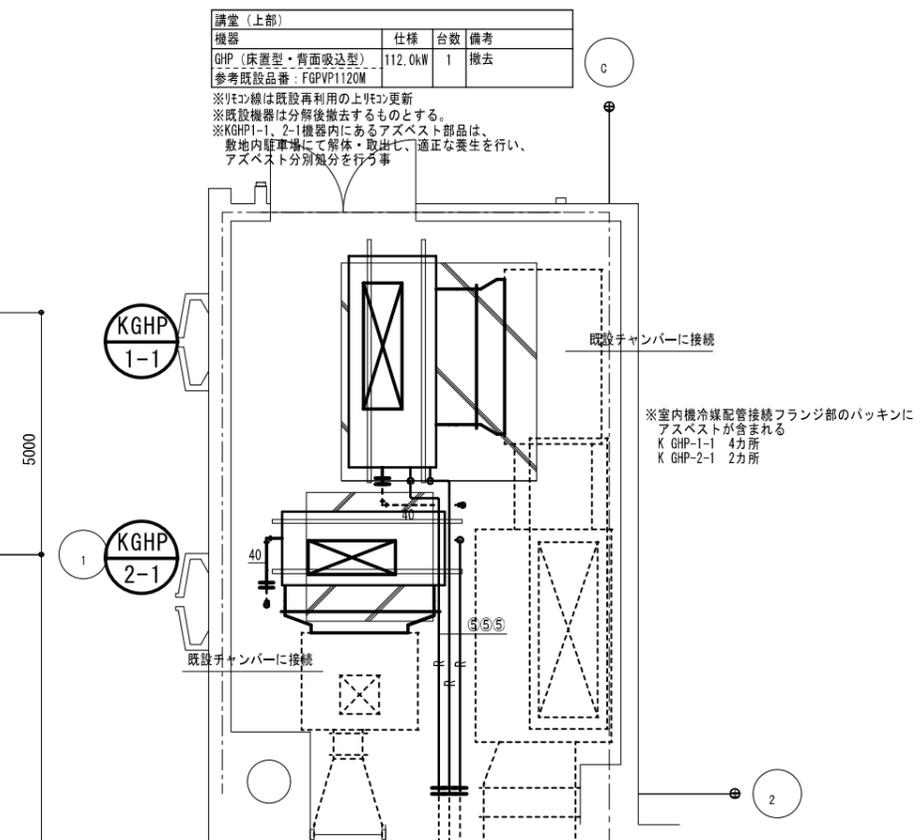
既設配管・ダクトを示す (撤去)	——
既設配管・ダクトを示す (再利用)	----
既設配管切断箇所を示す	=

1階平面詳細図 S=1:100

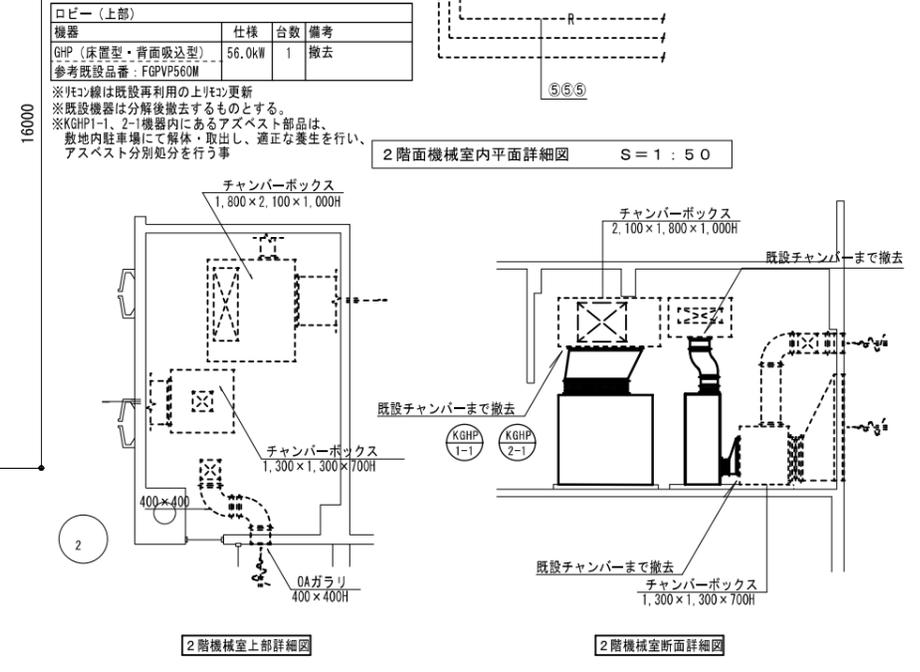
※渡り配線 EM-CE1.258SQ-3C 冷媒共巻



2階（1階上部）平面詳細図 S=1:100



2階機械室内平面詳細図 S=1:50



2階機械室上部詳細図

2階機械室断面詳細図

	液管	ガス管
①	6.4φ	12.7φ
②	9.5φ	15.8φ
③	9.5φ	19.0φ
④	9.5φ	22.2φ
⑤	15.8φ	28.6φ

凡例	
既設配管・ダクトを示す（撤去）	——
既設配管・ダクトを示す（再利用）	----
既設配管切断箇所を示す	=

※渡り配線 EM-CET.258SQ-3C 冷媒共巻

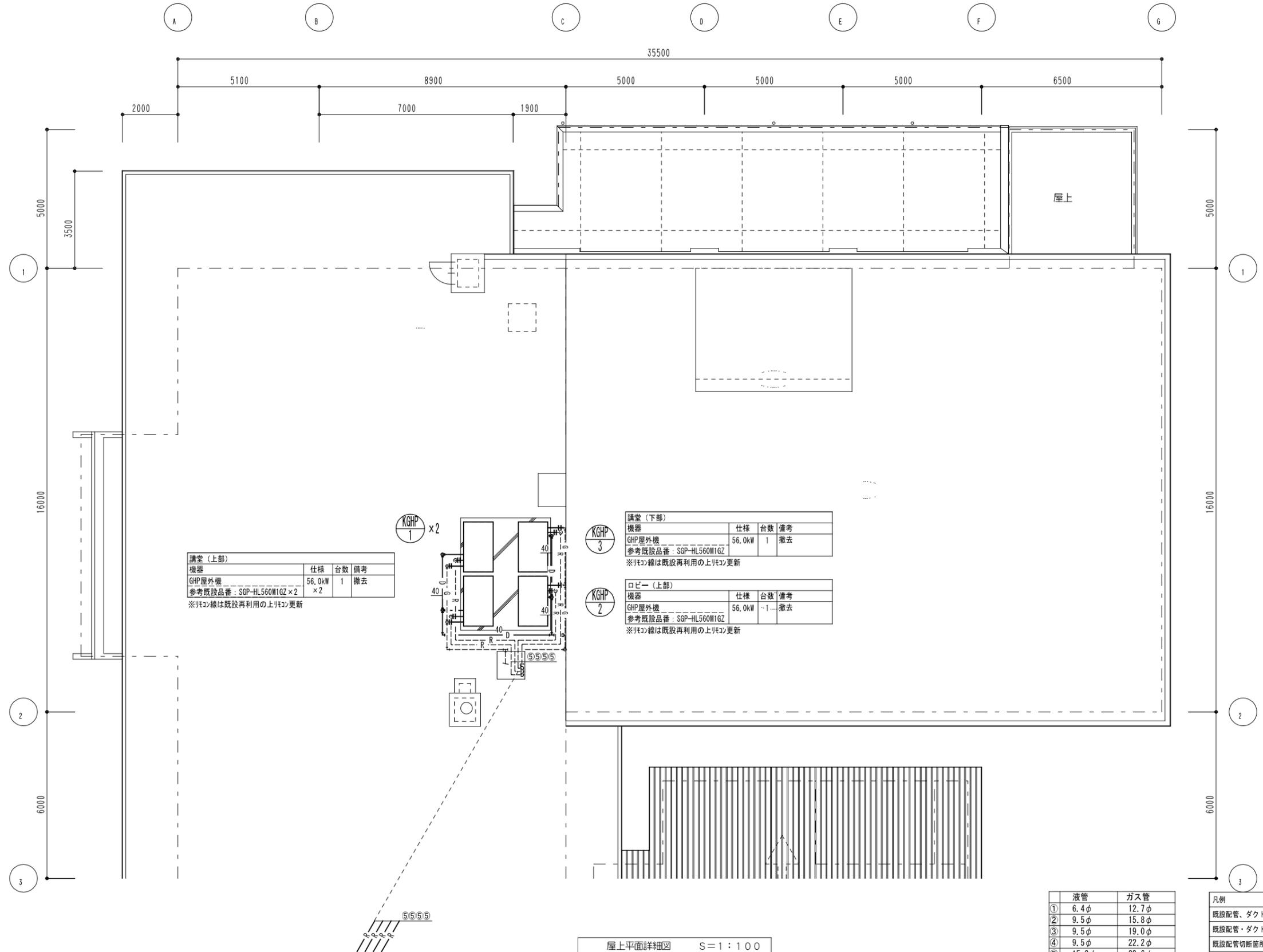
特記	
工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事
図名	既設2階平面詳細図（空調設備）
縮尺	A2: 1/100 A3: 1/141
図面番号	M-09

工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事
縮尺	A2: 1/100 A3: 1/141
図面番号	M-09

**HAKUHO**  
Architect  
白鳳アーキテック 株式会社

1級建築士事務所 登録（三重1-1987号）  
〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地  
TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067  
E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp

承認	管理建築士	印
田中 西尾 安井	1級 256630号	宣室
図面提出日	2024/07/31	宣室 敬司



液管	ガス管
① 6.4φ	12.7φ
② 9.5φ	15.8φ
③ 9.5φ	19.0φ
④ 9.5φ	22.2φ
⑤ 15.8φ	28.6φ

既設配管・ダクトを示す (撤去)	——
既設配管・ダクトを示す (再利用)	----
既設配管切断箇所を示す	=

※既設ガス管はSGP (白) とする。  
 ※既設ドレン管は樹脂管 (VP) とする。  
 ※渡り配線 EM-CE1.258SQ-3C 冷媒共巻

特記	工事名	桔梗が丘市民センター講堂ほか空調設備改修工事		
	図名	既設屋上平面詳細図 (空調設備)	縮尺 A2: 1/100 A3: 1/141	図番番号 M-10
	1級建築士事務所 登録 (三重1-1987号) 〒518-0775 三重県名張市希央台5番町109番地 TEL 0595-48-6066 FAX 0595-48-6067 E-mail h.a.t@tuba.ocn.ne.jp	 白鳳アーキテック 株式会社		管理建築士 印 1級 256630号 萱室 敦司
	承 認 田中 西尾 安井 図面提出日 2024/07/31	2024/07/31		